

令和4年度
SYLLABUS
講義要項

子ども学科

(令和3年度入学生用)

山村学園短期大学

子ども学科(令和3年度入学生) SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】			【保育の内容・方法に関する科目】			【教職に関する科目】		
1	日本国憲法	中川翔	15	保育・教育課程論	高後		教育方法・技術論	令和4年度開講せず
2	体育講義	佐藤	16	保育内容総論 *	橘/室井	22	教育相談	原田
3	体育実技	佐藤		保育内容健康	令和4年度開講せず	23	教育行政学	宇田川/高後
4	保育英会話	Tod Spence-Perkins		保育内容人間関係	令和4年度開講せず	24	保育・教職実践演習(幼稚園) *	橋本/巢立/楠原
5	生命倫理	渡邊		保育内容環境	令和4年度開講せず	【保育者の資質を高める科目】		
	コンピュータ基礎演習	令和4年度開講せず		保育内容言葉	令和4年度開講せず		基礎演習 *	令和4年度開講せず
	キャリアアップセミナーⅠ *	令和4年度開講せず		保育内容表現	令和4年度開講せず	25	総合演習(4~8月) *	福泉/楠原/巢立/高後
6	キャリアアップセミナーⅡ(4~8月) *	福泉/楠原/巢立/高後		音楽	令和4年度開講せず	26	総合演習(9~1月) *	福泉/楠原/巢立/高後
7	キャリアアップセミナーⅡ(9~1月) *	福泉/楠原/巢立/高後		図画工作	令和4年度開講せず	27	乳児小児救命法	高後/マスターワークス
	保育入門	令和4年度開講せず		幼児体育	令和4年度開講せず	28	アウトドア演習A	高後/去田
【保育の本質・目的に関する科目】				乳児保育Ⅰ	令和4年度開講せず	29	アウトドア演習B	山村/堀口
	保育原理 *	令和4年度開講せず	17	乳児保育Ⅱ	山田		ソーイング演習	令和4年度開講せず
8	教育原理 *	宇田川/高後		子どもの健康と安全	令和4年度開講せず	30	ナチュラルアート	酒井
	子ども家庭福祉	令和4年度開講せず		障がい児保育	令和4年度開講せず	31	ダンスムーブメント	楠原
9	社会福祉	橋本	18	社会的養護Ⅱ	宇田川	【実習科目】		
10	子ども家庭支援論	巢立		子育て支援	令和4年度開講せず		実習指導Ⅰ *	令和4年度開講せず
	社会的養護Ⅰ	令和4年度開講せず		健康と人間関係の指導法	令和4年度開講せず		実習指導Ⅱ *	令和4年度開講せず
	保育・教職論	令和4年度開講せず	19	環境の指導法	野口	32	実習指導Ⅲ *	橋本/宇田川/巢立/橘/室井
11	特別支援教育	宇田川		言葉と表現の指導法	令和4年度開講せず		保育実習Ⅰ *	令和4年度開講せず
【保育の対象の理解に関する科目】				造形表現の探究	令和4年度開講せず		施設実習Ⅰ *	令和4年度開講せず
	保育の心理学 *	令和4年度開講せず		音楽表現の探究	令和4年度開講せず	33	保育実習Ⅱ *	橋本
12	子ども家庭支援の心理学	原田		子ども文化演習A	令和4年度開講せず	34	施設実習Ⅱ *	宇田川
13	子どもの理解と援助	富田	20	子ども文化演習B	福泉/楠原/酒井		教育実習Ⅰ *	令和4年度開講せず
	子どもの保健	令和4年度開講せず		ピアノA	令和4年度開講せず	35	教育実習Ⅱ *	巢立
14	子どもの食と栄養	田中	21	ピアノB	福泉/数野/大導寺/中川悠 福士/町田/宮尾	36	ディプロマ・ポリシーに掲げる学力の割合	
						36	カリキュラムツリー	
						37	実務教員科目一覧・略歴	
								* 実務教員科目

教 養 科 目

授業科目名	日本国憲法			教員名	中川 翔伍		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕				ナンバリング	2D101	
授業内容を示すキーワード	憲法、自由、人権、民主主義、公共の福祉、三権分立、地方自治						
授業の概要	私たちは数多くの法が張り巡らされた社会に生きています。目に見えないので意識しにくいとは思いますが、皆さんの誰もが法律と共に生活しています。そして、全ての法律の基本となっているのが憲法です。憲法はとっつきにくいというのが正直なところだと思います。しかし、本講義を受講した後、きっと皆さんはニュースや新聞に書いてあることの意味がわかるようになるでしょう。それは皆さんが世界を広げたということです。皆さんが豊かな教養を持った素敵な先生になることを祈念して、わかりやすく憲法をお伝えします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 憲法理念や国家の成り立ち等の基礎的な教養を習得し、人権感覚を芽生えさせる 【到達目標】 芽生えた人権感覚等を咀嚼し、幼児教育に応用・実践できる						
授業の方法等	授業と小テスト(第2講より開始)を軸にします。その日学んだことをその日に小テストで確認し、講義時間内に解説まで行います。小テストの返却は次回の講義の冒頭で行います。授業は講義形式を基本としますが、適宜ソクラテスマソッドを用いて双方向的にディスカッションを行います。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕58% ■授業への取り組み・態度(小テスト含む)42%						
教科書	「いちばんやさしい憲法入門【第6版】(有斐閣アルマ)」[ISBN:978-464-1221505] 初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行 有斐閣						
参考書	「憲法【第7版】」芦部信喜著 岩波書店						
関連科目	社会福祉、子ども家庭福祉、子ども家庭支援論						
質問受付の方法	授業後直接又はメール(shogonakagawa2000@gmail.com、nakagawa@maru-soleil.jpいずれも可)で受け付けます。						
履修上の注意	授業に関心が持てないこともあると思いますが、周りに迷惑をかける行為一切を禁じます。最低でも自己責任の範疇に抑えてください。						

授業計画 と 時間外学習	自己紹介、ガイダンス、憲法総論
	1 <予習>テキストの目次や気になるところを読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	立憲民主政と改憲論(問題状況の把握にとどめる)、天皇制
	2 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	子どもの人権、外国人の人権、公共の福祉(制約)、労働基本権
	3 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	平等権、幸福追求権等各権利
	4 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	精神的自由権① 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離、学問の自由
	5 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	6 【オンデマンド(遠隔等)】精神的自由権② 表現の自由(1)(表現内容規制と内容中立規制、知る権利、検閲) <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	7 【オンデマンド(遠隔等)】精神的自由権③ 表現の自由(2)(結社、集会、通信) <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	8 【オンデマンド(遠隔等)】経済的自由権① 職業選択の自由、営業の自由 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	9 経済的自由権② 財産権、正当補償 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
	10 人身・居住移転の自由、刑事手続上の権利 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分
11 社会権① 生存権、教育を受ける権利 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分	
12 社会権② 勤労権、参政権、その他社会権 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分	
13 三権分立、国会、内閣 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分	
14 裁判所と司法審査制 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分	
15 地方自治 <予習>テキストの該当項目を読む 90分 <復習>当日の授業のレジュメを読む 90分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	体育講義			教員名	佐藤 志穂		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔66条の6〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕				ナンバリング	2D102	
授業内容を示すキーワード	体育、スポーツ、健康						
授業の概要	体育に関する基礎的な理論やスポーツ、運動、健康づくりの実践や指導に関する基礎的知識の習得を目指します。運動技能を身につける(学習する)プロセスに加え、社会のなかでどのような文化としてスポーツが存在するかなど、スポーツに関する幅広い知識を習得します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>近年、生活の質の向上を目指す機運の向上や健康志向の高まりを背景に、スポーツや運動が社会的関心事のひとつとなっています。本講義では、スポーツや運動を多様な視点から概観し、基礎的知識の習得をねらいとします。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1) 体育、スポーツ、運動、健康に関する基礎的な理論を理解することができる。 (2) 実践や指導に関する基礎的な知識を身につけることができる。 (3) 上記の理論や知識を、現代社会における諸問題と結び付け、問題意識を持ち、考えていくことができる。</p>						
授業の方法等	プレゼン資料を用い講義形式で行う。定期試験は、授業内容から出題します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■その他〔小論文〕20% ■授業への取り組み・態度 20%						
教科書	使用しません。必要に応じてプリントを配布します。						
参考書	使用しません。必要に応じてプリントを配布します。						
関連科目	体育実技、幼児体育、保育内容健康						
質問受付の方法	授業の前後に、芙蓉館または講師控室にていつでも受け付けます。						
履修上の注意	質問は常時受け付けます。積極的に参加することを望みます。 理由のない欠席、遅刻は減点対象になります。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション 授業内容、評価の方法の説明	
	1	〈予習〉シラバスを読む 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	2	体育とスポーツ スポーツとは何か 〈予習〉スポーツについて調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	3	体について知る1 身体の構造と機能 〈予習〉骨、筋の名称について調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	4	体について知る2 現代の健康問題 〈予習〉健康問題について調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	5	コンディショニング 〈予習〉栄養、休養、運動の関わりについて調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	6	飲酒、喫煙、薬物 〈予習〉飲酒、喫煙、薬物について調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	7	病気と怪我 〈予習〉運動に関する病気や怪我について調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	8	スポーツの歴史1 古代ギリシャ、古代ローマ 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	9	スポーツの歴史2 中世、近代 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	10	現代社会とスポーツ 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	11	スポーツ文化1 文化とは何か 〈予習〉文化について調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	12	スポーツ文化2 スポーツ文化の内容 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	13	スポーツマンシップとフェアプレイ、スポーツとジェンダー 〈予習〉スポーツマンシップとフェアプレイについて調べる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
	14	スポーツとジェンダー、スポーツと産業 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
15	まとめ 〈予習〉これまでの配布資料等をまとめる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	体育実技			教員名	佐藤 志穂		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	実技
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔66条の6〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕				ナンバリング	2D103	
授業内容を示すキーワード	スポーツ、体育、運動						
授業の概要	健全な発育や心身の健康の維持・増進には、身体を動かすことが重要な役割を果たします。本授業では、スポーツを教材にし、実践を通して心身の健康について理解することを目指します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 本授業では、スポーツ種目や様々な運動を通して、楽しみながら健康づくりについて学び、実践していきます。また、協働を通じコミュニケーション能力を高めることをねらいとします。</p> <p>【到達目標】 (1)スポーツ種目や運動の実践を通して、心身の健康を維持し、その増進を図ることができる。 (2)他者との協働を行う中で、コミュニケーション能力を培うことができる。</p>						
授業の方法等	体育館において実技形式で行う。基礎的な技術やルール、競技特性を理解するための時間を確保し、その上でゲームを行います。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔実技〕60%</p> <p>■授業への取り組み・態度 40%</p>						
教科書	適宜、資料を配付します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	体育講義、幼児体育、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	授業の前後に、体育館または講師控室にていつでも受け付けます。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中では安全を守ることに十分注意しながら行って下さい。 ・運動に適した服装(ジャージなど)、運動靴を必ず用意し、水分補給などスポーツを楽しむ上で必要なものを持参しましょう。 ・積極的、協力的な態度での授業参加を期待します。 						

授業計画と時間外学習	オリエンテーション(運動に適した服装と、運動靴で来てください)	
	1	〈予習〉シラバスを読み、授業に必要なものを用意する 60分 〈復習〉これから行うスポーツ種目について調べる 120分
	からだほぐしの運動	
	2	〈予習〉ストレッチなどについて調べる 90分 〈復習〉授業内で行った運動を実践する 90分
	卓球1 ラケットに慣れる	
	3	〈予習〉卓球について調べる 90分 〈復習〉卓球のゲームを調べる 90分
	卓球2 シングルのゲーム	
	4	〈予習〉シングルのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分
	卓球3 ダブルスのゲーム	
	5	〈予習〉ダブルスのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分
	卓球4 団体戦	
	6	〈予習〉団体戦について調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分
	バレーボール1 ボールに慣れる、パス練習	
	7	〈予習〉バレーボールについて調べる 90分 〈復習〉バレーボールのゲームについて調べる 90分
	バレーボール2 サーブ練習、ゲームを行う	
8	〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
バレーボール3 ゲームを行う		
9	〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
バレーボール4 チームの連係、ゲームを行う		
10	〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
バスケットボール1 パス、ドリブル、シュート		
11	〈予習〉バスケットボールについて調べる 90分 〈復習〉バスケットボールのゲームについて調べる 90分	
バスケットボール2 3×3のゲーム		
12	〈予習〉3×3でのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
バスケットボール3 オールコートでのゲーム		
13	〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
バスケットボール4 攻撃と守備の連係、ゲームを行う		
14	〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 90分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
バスケットボール5 様々なシュート、ゲームを行う		
15	〈予習〉バスケットボールについて調べる 90分 〈復習〉授業を振り返り、自分の課題を見つめ直す 90分	
定期試験	<p>◆定期試験〔実技〕75分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕15分</p>	

授 業 科 目 名	保育英会話			教 員 名	Tod Spence-Perkins		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕				ナンバリング	2D104	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	保育所・幼稚園・認定こども園 英会話						
授 業 の 概 要	保育所や幼稚園、認定こども園等で使うであろう英語や日常英会話の学習をします。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	<p>【ねらい】 教科書に沿って内容を理解し、よく使う表現を反復練習して役割を決めて使い慣れるようにする。</p> <p>【到達目標】 保育所や幼稚園、認定こども園等に海外にルーツを持つ子どもや親がいて、日本語を母国語としていない場合に英語を使って、少しでも対応できるようにする。</p>						
授 業 の 方 法 等	演習形式で授業を進めます。教科書に沿って授業を進めるので、教科書を持参してください。また、会話の聞き取りをしてペアやグループでのディスカッションを行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 30% 						
教 科 書	「保育の英会話」〔ISBN:978-4893470775〕 赤松直子、久富陽子著 萌文書林						
参 考 書	適宜紹介、資料を配布します。						
関 連 科 目	保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	授業時間中に質問を受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	授業中に寝る・周りに迷惑になるような私語は授業の妨げとなる為、【授業への取り組み・態度】を厳格に評価します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	テキストに沿って進めます。第1回は「お名前を教えてください」というテーマで挨拶の学習
	1 <予習>Unit1を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>授業の内容を忘れる前に反復練習。100分
	2 「園ようこそ！」というテーマで挨拶の学習 <予習>Unit2を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>ミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	時間と数 <予習>Unit3を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>前回のミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	地図と道案内 <予習>Unit4を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	クラスメイトとの出会い <予習>Unit5を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	送り迎え <予習>Unit6を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	保育所・幼稚園での仕事 <予習>Unit7を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	食事に関する表現 <予習>Unit8を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	生活習慣の表現 <予習>Unit9を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	子ども同士の交流の表現 <予習>Unit10を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	怪我と病気 <予習>Unit11を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	電話での対応 <予習>Unit12を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	遠足 <予習>Unit13を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	赤ちゃんのケア <予習>Unit14を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
卒園 <予習>Unit15を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 <復習>今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分	
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	生命倫理			教員名	渡邊 智寛		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	3D105
授業内容を示すキーワード	職業専門家と社会、社会的利益と自己決定権、生命の尊厳・生命の質、リプロダクティブライツ胎児の生存権、生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、死を選択する権利						
授業の概要	生命が関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにとって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。社会に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的な対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。</p> <p>【到達目標】 (1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解する。 (2)各学説の意味と目的を理解する。 (3)各問題に対し自分の意見を形成する。 (4)根拠・理由を示しつつその意見を的確に説明する。</p>						
授業の方法等	講義を中心に授業を展開していきます。一部、授業内で視聴覚教材も使用します。 ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業および自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、「ディスカッション」「グループワーク」を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記〕60%</p> <p>■授業内課題〔リアクションペーパー、確認テスト等〕40%</p>						
教科書	なし(適宜資料を配布)						
参考書	適宜、教員が指示します。						
関連科目	子どもの保健						
質問受付の方法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。 bioethics.mn@gmail.com						
履修上の注意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授業計画 と 時間外学習	1	導入：倫理学とはなにか —倫理と道徳、倫理と社会 〈予習〉シバズ「キーワード」から3つ選択し、ネット情報を活用しその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・確認 90分
	2	生命倫理学とはなにか —生命倫理的諸問題、専門職と社会 〈予習〉初回授業で示されたテーマから3つ選択し、ネット情報を活用しその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	3	人工妊娠中絶① —日本の現状、歴史的経緯、国際比較、関係法規 〈予習〉日本における中絶の歴史的経緯や現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	4	人工妊娠中絶② —生存権と選択権、優生思想と新優生思想、生殖と社会 〈予習〉中絶に関わる諸権利と優生思想の概要の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	5	生殖補助医療① —人工授精、体外受精、代理出産、望む子を得ること 〈予習〉生殖補助医療の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	6	生殖補助医療② —選択的出産、受精卵を用いた研究、技術が変える親子関係 〈予習〉生殖補助医療にまつわる倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	7	遺伝子操作① —子をデザインする、遺伝子エンハンスメント、遺伝子を買う 〈予習〉遺伝子操作技術の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	8	遺伝子操作② —遺伝子組み換え作物・動物、食を通じた世界支配 〈予習〉遺伝子操作技術がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	9	【オンデマンド(遠隔)】生命のはじまりに対する介入 —「健康な」「優秀な」子を望むこと 〈予習〉授業「人工妊娠中絶」「生殖補助医療」「遺伝子操作」の振り返り 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	10	脳死と臓器移植① —パーソン論、脳死と社会的死 〈予習〉脳死及び臓器移植の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	11	脳死と臓器移植② —判定基準の問題、臓器移植の新要件、脳死は死か 〈予習〉脳死・臓器移植がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	12	安楽死・尊厳死・治療停止① —安楽死・尊厳死とは、事例、安楽死許容条件 〈予習〉安楽死および尊厳死の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	13	安楽死・尊厳死・治療停止②—リヴィング・ウィルとDNAR、死の迎え方と社会 〈予習〉安楽死・尊厳死や死の自己決定がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	14	自律尊重・自己決定 —社会の利益と個人の権利、自己決定権とその限界 〈予習〉自己決定権が社会においてどのように受け入れられ、用いられているのかを確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	15	ケアという視点 —ケアとキュア、社会と弱者の関わり 〈予習〉「弱っている者」「死にゆく者」の社会的立場の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
定期試験	<p>◆定期試験〔筆記〕60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>	

授業科目名	キャリアアップセミナーⅡ(4~8月)*			教員名	福泉 博子 / 楠原 竜也 巢立 佳宏 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D108	
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ、少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授業の概要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。 後期は、1・2年生生合同で縦割りのグループを10前後編制し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術や協働性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図る。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回(合計108時間)の授業を行います。 キャリアアップにつながる行事や学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことがあります。学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年生合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式でディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワークを授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(キャリアアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%) 100%						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアアップセミナーⅠ						
質問受付の方法	各担任や学習ゼミ担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	総合演習とキャリアアップセミナーⅡとは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開したりする場合があります。						

授業計画 と 時間外学習	キャリアアップセミナー・進路ガイダンスについて	
	1	〈予習〉自らの進路や適性・能力について改めて考える 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	キャリアサポ学習・個人面談 / 県社会福祉事業団による就職案内	
	2	〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	キャリアサポ学習・個人面談 / 作文試験	
	3	〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	学生総会・新入生歓迎会	
	4	(予習)歓迎会行事についてイメージづくり 45分 (復習)振り返り 45分
	キャリアサポ学習・個人面談 / 履歴書作成	
	5	(予習)キャリアサポ学習内容を理解し準備をする 45分 (復習)振り返り 45分
	クラスゼミ(山緑祭準備)	
	6	〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
キャリアサポ学習 進路講演会 進路調査票の作成		
7	(予習)キャリアサポ学習内容を理解し準備をする 45分 (復習)振り返り 45分	
クラスゼミ(山緑祭準備)		
8	〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分	
クラスゼミ(山緑祭準備)		
9	〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分	
クラスゼミ(山緑祭準備)		
10	〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分	
山緑祭(学内)		
11	〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分	
クラスゼミ(小川町七夕準備)		
12	〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分	
定期試験		◆定期試験は行いません。

授業科目名	キャリアアップセミナーⅡ(9~1月)*			教員名	福泉 博子 / 楠原 竜也 巢立 佳宏 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D108	
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ、少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授業の概要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術や協働性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図る。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回(合計108時間)の授業を行います。 キャリアアップにつながる行事や学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことができます。学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年生合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式でディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワークを授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(キャリアアップの学習 30%、行事参加 20%、クラスゼミ活動 50%) 100%						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアアップセミナーⅠ、子ども文化演習B						
質問受付の方法	各担任や学習ゼミ担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	総合演習とキャリアアップセミナーⅡとは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開したりする場合があります。						

授業計画 と 時間外学習	キャリアアップセミナー・進路ガイダンスについて	
	13	〈予習〉自らの進路や適性・能力について改めて考える 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	履歴書作成・個人面談(担任等)	
	14	〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	免許・資格申請手続き説明会	
	15	〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉申請手続きを理解し、準備を始める 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)	
	16	〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)	
	17	〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)	
	18	〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	実習報告会(1・2年生合同)	
	19	〈予習〉実習経験を振り返る 45分 〈復習〉報告会の見聞をまとめる 45分
	学習ゼミ①	
	20	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	Yamamura Juhla Juhla リハーサル	
	21	〈予習〉クラスとグループでの企画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	Yamamura Juhla Juhla (本番)	
	22	〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	学習ゼミ②	
	23	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	学習ゼミ④	
	24	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	学習ゼミ⑥	
	25	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	学習成果発表会	
26	〈予習〉ゼミの発表の準備する 45分 〈復習〉ゼミの活動を振り返る 45分	
クラスゼミ(卒業に向けて)		
27	〈予習〉2年間の学びと学生生活を振り返る 45分 〈復習〉卒業後への心構えを考える 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。	

保育の本質・目的に関する科目

授業科目名	教育原理 *			教員名	宇田川 和久 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔教育原理〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/教育の理念並び教育に関する歴史及び思想〕			ナンバリング	2D202		
授業内容を示すキーワード	学校教育、教育思想、教育史、学習指導要領、教育制度						
授業の概要	教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等に関する基礎的な知識を学習します。 また、教育者として教育現場や教育行政での勤務経験を有する実務教員であることから、教育現場での教育者の視点、子ども・保護者の視点等を多角的に現状を伝え、教育の専門的知識に活かしていく力を養う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士・幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)教育の意義・目的について理解する。 (2)学校教育の歴史と制度について理解する。 (3)教育の制度について理解する。 (4)教育実践のさまざまな取組について理解する。 (5)教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式が中心ですが、アクティブラーニングの手法を取り入れ可能な限りグループワークを授業内で行います。必要に応じて課題を提示し、レポート作成・発表・協議など学生の主体的な取り組みのある授業展開を行います。 また、最近の教育の動向や様々な教育問題等についても学んでいきます。 また、ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行う予定です。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「教育原理(保育士養成課程)」〔ISBN:978-4332510390〕 小田豊監修、野尻裕子・栗原泰子編著 光生館						
参考書	文部科学省ホームページ						
関連科目	保育原理						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	1	教育とは何かを考える〔担当:宇田川〕 〈予習〉第1章を読み教育とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	2	教育の目的を考える〔担当:宇田川〕 〈予習〉第1章を読み教育の目的について自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	3	子どもの権利としての教育と福祉〔担当:高後〕 〈予習〉 児童憲章、児童権利条約(育つ権利)について調べてくる。90分 〈復習〉 授業時に配布したレポートをまとめる。90分
	4	日本における就学前教育と児童福祉〔担当:高後〕 〈予習〉 学校教育法、児童福祉法等の法律に示された教育・保育の目的を調べてくる。90分 〈復習〉 授業時に配布したレポートをまとめる。90分
	5	日本の教育の歴史 I (昭和20年まで)〔担当:高後〕 〈予習〉 明治～昭和にかけ活躍した先覚者の業績を調べてくる。90分 〈復習〉 幼稚園誕生から昭和初期の幼児教育の発展を年表にする。90分
	6	日本の教育の歴史 II (昭和20年以降)〔担当:高後〕 〈予習〉 幼稚園教育要領改訂(S39)、保育所保育指針(S40)頃の時代背景について調べてくる。90分 〈復習〉 戦後から平成にかけての教育・保育の流れを年表にする。90分
	7	近代日本までの教育理論〔担当:高後〕 〈予習〉 寺子屋、手習塾等、庶民教育の実態について調べてくる。90分 〈復習〉 江戸時代の教育についてまとめる。90分
	8	日本の幼児教育理論〔担当:高後〕 〈予習〉 三法令に記された教育・保育の理念について調べてくる。90分 〈復習〉 幼稚園や保育所等に取り入れられている保育について整理する。90分
	9	諸外国における教育観と子ども観の変遷〔担当:高後〕 〈予習〉 近代教育に貢献した人物の業績を調べてくる。90分 〈復習〉 主体性についてカントの理論を参考にレポートをまとめる。90分
	10	保育内容の変遷〔担当:高後〕 〈予習〉 保育三項目から保育要領までの保育内容を調べてくる。90分 〈復習〉 これからの時代を生きていく子どもたちに必要な保育内容についてまとめる。90分
	11	日本の教育制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第3章及び第6章を読み学校とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	12	教育行政の目的と組織〔担当:宇田川〕 〈予習〉第6章を読み教育委員会の役割について調べる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	13	教育実践の基礎理論〔担当:宇田川〕 〈予習〉第8章を読み教育に関する法律について調べる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	14	教育実践の多様な取り組み〔担当:宇田川〕 〈予習〉第8章を読み教育実践の多様な取り組みについて調べる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	15	生涯学習社会と学校教育〔担当:宇田川〕 〈予習〉第9章を読み生涯学習とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	社会福祉			教員名	橋本 淳一		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会福祉〕				ナンバリング	2D204	
授業内容を示すキーワード	ノーマライゼーション インクルージョン アドボカシー 社会福祉基礎構造改革						
授業の概要	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点、社会福祉の法律・制度や実施体系、社会福祉における利用者保護の仕組み、社会福祉の動向と課題等について学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 社会福祉と現実の子ども家庭支援や保育がどう繋がっているのかを知るとともに、現代の社会福祉の考え方や体系を理解し、その法律や制度、専門的方法・技術など、子ども家庭支援や保育の現場に生かせる知識の獲得をめざす。</p> <p>【到達目標】 保育者に必要な社会福祉の理念や概念、歴史、制度と法律、相談援助の理論や方法・技術、及び社会福祉における子ども家庭支援の方策について理解し、適用することができる。</p>						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。 一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記〕80%</p> <p>■授業への取り組み・態度 20%</p>						
教科書	『最新 社会福祉のすすめ』(ISBN:978-4762028731) 和田光一・筒井澄栄・西川ハンナ 学文社 2019						
参考書	『国民福祉の動向』厚生統計協会						
関連科目	子ども家庭福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授業計画 と 時間外学習	社会福祉の理念と対象、社会福祉における利用者保護に関わる仕組み	
	1	〈予習〉テキスト第2章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	日本の社会福祉のあゆみ① 前近代から昭和初期まで	
	2	〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	日本の社会福祉のあゆみ② 戦後の社会福祉の展開	
	3	〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	イギリスを中心とする欧米の社会福祉のあゆみ	
	4	〈予習〉テキスト第4章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	社会福祉の法体系と実施機関	
	5	〈予習〉テキスト第3章2.3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	社会福祉と障害に関する海外事例研究①	
	6	〈予習〉テキスト第8章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	社会福祉と障害に関する海外事例研究②	
	7	〈予習〉テキスト第8章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	日本の社会保障・保険制度① 年金・健康保険	
8	〈予習〉テキスト第3章1.2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分	
日本の社会保障・保険制度② 公的扶助・生活保護		
9	〈予習〉テキスト第6章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分	
地域の福祉とボランティア、社会福祉の専門職、相談援助の技術		
10	〈予習〉テキスト第5・7章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分	
子どもと家族の福祉		
11	〈予習〉テキスト第6章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分	
障害をもつ人の福祉		
12	〈予習〉テキスト第6章3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分	
【オンデマンド型(遠隔)】高齢者の福祉		
13	〈予習〉テキスト第6章4を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分	
【オンデマンド型(遠隔)】授業のまとめ		
14	〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分	
【オンデマンド型(遠隔)】問題演習		
15	〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分	
定期試験	<p>◆定期試験〔筆記〕60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>	

授 業 科 目 名	子ども家庭支援論			教 員 名	巢立 佳宏		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	講 義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔子ども家庭支援論〕				ナンバリング	2D205	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	①家庭支援の意義 ②家庭支援を取り巻く社会的状況 ③保護者支援(傾聴と信頼関係)とコミュニケーション力 ④関連機関との連携						
授 業 の 概 要	①心豊かな子どもの成長を促す家族の役割を理解します。 ②現在社会の中で取り巻く家庭の状況・問題や課題を意識します。 ③保育者としての支援方法や具体的ななかかり方を学びます。 ④子育て支援政策を理解し、地域の関係機関等のつながりを理解します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 ①心豊かな子どもを育てる為に、保育者と保護者との信頼関係を築くことが、保育者として基本であることを自覚する。 ②信頼関係を築く具体的な事例を通して、支援方法を認識・実践する。 ③支援政策動向を理解し、地域の関係機関等のつながりを認識する。 【到達目標】 ①子育てに関する支援の意義・目的を理解する。 ②保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 ③子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。 ⑤子どもへの保育課題、保護者の支援方法を様々な事例を通して、解決方法を見いだすことができる。						
授 業 の 方 法 等	ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕20%						
教 科 書	「子ども家庭支援論」(ISBN:978-7-8258-5785-4) 監修 児童育成協会 松原康雄 村田典子 南野奈津子編集 /中央法規						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	子ども家庭福祉 社会福祉 子育て支援 教育相談						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。 また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	遅刻・欠席はしないこと。配布されたプリントは各自自己管理をし、忘れず持参してください。 EduNaviを活用するため、スマートフォン等を持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション(授業の流れ及び目標説明) 子ども家庭支援の意義と必要性 〈予習〉児童憲章・児童福祉法・保育所保育指針・幼稚園教育要領を調べる。90分 〈復習〉各学生が調べてきた法的根拠を振り返る。90分
	2	各種制度なかでの保育・子育て支援の位置づけと支援の目的及び機能 〈予習〉各種制度を調べる。 〈復習〉配布されたプリントを見返す。90分
	3	子ども家庭支援施策・次世代育成支援施策を支える社会の流れ 〈予習〉子ども支援関連用語を調べる。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	4	子ども家庭の福祉を支える社会資源(フォーマルサービス・インフォーマルサービス)の理解 〈予習〉子ども支援関連用語を確認する 90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援と意義 〈予習〉ソーシャルワークの役割を確認する。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	6	子どもの育ちの喜びの共有の意義 〈予習〉具体的なコミュニケーションを考える。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	7	保育士に求められる基本的態度(ハイステックの7原則) 〈予習〉リフレーミングを考える。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	8	保育士のコミュニケーション力を高める① ジェノグラムを使った子ども・保護者の関係性 〈予習〉配布された事例から子ども・保護者の姿を読み解く。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	9	保育士のコミュニケーション力を高める② 事例を通してジェノグラムを使った課題の分析と解決手法 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	10	保育士のコミュニケーション力を高める③ 文章コミュニケーション(園だより・連絡帳の書き方) 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	11	保育士のコミュニケーション力を高める④ 言語的コミュニケーション(リフレーミングを通じた助言の言葉)の実践 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	12	特別なニーズを持つ家族の姿と援助① 育てにくい子ども・障害のある子どもと親への対応 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	13	特別なニーズを持つ家族の姿と援助② 乳幼児の虐待種類・定義・症状 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	14	要保護児童及びその家庭に対する支援 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	15	世界の子育て支援と日本の子育て支援(世界の保育環境)、子ども家庭支援の今後の課題 〈予習〉世界の保育環境を調べる。90分 〈復習〉子どもの未来の責任と協力者であることを認識をする。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	特別支援教育			教員名	宇田川 和久		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に関する理解〕			ナンバリング	2D208		
授業内容を示すキーワード	共生社会、インクルーシブ教育システム、特別支援教育、障害特性、就学支援、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、特別支援教育コーディネーター						
授業の概要	インクルーシブ教育システムの理念である障害のあるなしにかかわらず共に学ぶことの重要性について学びます。 また、このシステムを構築するため、特別支援教育を推進する必要があることを学びます。 さらに、特別支援教育は、特殊教育の対象であった障害に加えLD、ADHD、高機能自閉症等も対象とし、子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その持てる力を最大限に高めるための教育として今後極めて重要になることを障害に関する基礎的な知識や教育の現状や課題などを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 障害者を取り巻く社会環境の変化を理解し、インクルーシブ教育システムの必要性とその在り方について考えます。その上で、特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システムの必要性について理解する。 (2)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。 (3)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。 (4)個に応じた指導・支援の方法について理解する。 (5)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、チームディスカッションやグループワーク等アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。また、障害のある子供たちの支援の在り方等の実際について理解を図るために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。 さらに、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行う予定です。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「特別支援教育の基礎・基本<2020>」〔ISBN:978-4863715486〕 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所著 ジアース教育新社						
参考書	「特別支援学校学習指導要領」、「特別支援学校学習指導要領解説」、文部科学省ホームページ 文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のホームページにある資料						
関連科目	障がい児保育						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授業計画 と 時間外学習	1	障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システム 〈予習〉障害者について自分の関心のあることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	インクルーシブ教育システムの構築と特別支援教育 〈予習〉障害のある子どもたちに関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	特別支援教育の現状 〈予習〉特別支援教育に関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	視覚障害児及び聴覚障害児の理解と指導の実際 〈予習〉視覚障害や聴覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	肢体不自由児及び病弱児の理解と指導の実際 〈予習〉肢体不自由や病弱について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	知的障害児の理解と指導の実際 〈予習〉知的障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	発達障害の理解 〈予習〉発達障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	LD、ADHD児の理解 〈予習〉LD、ADHD児の特性について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	9	自閉症児の理解 〈予習〉自閉症児の特性について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	10	情緒障害児の理解 〈予習〉情緒障害とは何かについて調べる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	11	【オンデマンド型(遠隔)障害と就学支援 〈予習〉障害について考え、自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	12	【オンデマンド型(遠隔)特別支援学校における教育の実際 〈予習〉特別支援学校に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	13	特別支援学級における教育の実際 〈予習〉特別支援学級に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	14	通級による指導の実際 〈予習〉通級による指導に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	15	【オンデマンド型(遠隔)今後の特別支援教育の方向性 〈予習〉特別支援教育の意義等について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の対象の理解に関する科目

授 業 科 目 名	子ども家庭支援の心理学			教 員 名	原 田 友 毛 子		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	講 義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔子ども家庭支援の心理学〕				ナンバリング	2D302	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	生涯発達 家庭・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題						
授 業 の 概 要	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題などについて学びます。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の観点から捉える視点を習得します。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解しその知見を保育現場で活かせる力を身に付けます。子どもの精神保健とその課題について理解します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 子どもやその家庭の支援に関する包括的な内容を理解し、子どもとその家庭支援について基本的な知識・技能を身に付ける。 【到達目標】 (1)乳幼児期から高齢期までの生涯発達について理解し、概説できる。 (2)親子関係・家族関係を家庭ライフサイクル論や家庭システム論かの視点から学び、どのように支援したらよいかについて理解できる。 (3)子育て家庭に関する現状と課題について個々の事例を通して学び、対応の基本的事項について説明できるようにする。 (4)子どもの精神保健とその課題について学び、子どもの心の健康について、自然災害などの防災の観点からも考える事ができる。						
授 業 の 方 法 等	講義を中心として行いますが、各々の理論を保育者視点に立ってグループで討議する場面も設けます。毎回のレスポンスカードへの振り返りを各自が発表したりして授業内容の理解を深めることを目指します。前時の重要な内容については「プチ復習」という形で振り返りを行い学習の定着を図ることとします。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30% 						
教 科 書	「子ども家庭支援の心理学 改訂版」〔ISBN:978-4779306914〕原信夫、井上美鈴編著 北樹出版						
参 考 書	「こども家庭支援の心理学」白川佳子・福丸由佳編 中央法規 「こども家庭支援の心理学」本郷一夫・神谷哲司編著 建帛社						
関 連 科 目	保育の心理学 子どもの理解と援助 子ども家庭支援論 子どもの保健 子育て支援						
質 問 受 付 方 法	授業終了直後、または講師控室にて対応します。						
履 修 上 の 注 意	配布した資料は丁寧に整理・保管してください。また、学ぶ事項は保育現場ですぐに役立つものばかりなので真摯に主体性を持って取り組むことを期待します。教科書を基に論を展開しますので毎回忘れずに持参します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	生涯発達とライフサイクル 〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学の全体構造について整理する 90分
	2	乳幼児期から学童期前期にかけての発達 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉乳幼児期から児童期前期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	3	学童期後期から青年期にかけての発達 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉学童期後期から青年期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	4	成人期から老年期にかけての発達 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉自分の家族などの体験談も交えてどのように生きるかについて思索する 90分
	5	家族・家庭の意義と機能 〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	6	親子関係・家族関係の理解 〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	7	子育ての経験と親としての育ち 〈予習〉親になることについて思索し教科書を熟読し理解しておく 90分 〈復習〉親になること、あるいは親として、自分自身の考えをまとめる 90分
	8	子どもと家庭の状況 〈予習〉少子高齢化、世帯構造の変化などについて教科書に加えて検索しておく 90分 〈復習〉保育者の立場として自分自身がどう対応していくかについて考えをまとめる 90分
	9	ライフコースと仕事・子育て 〈予習〉教科書を熟読しライフコースと仕事・子育てについて思索する 90分 〈復習〉ライフコースと仕事・子育てについて自身の感想をまとめる 90分
	10	多様な家庭とその理解 〈予習〉ひとり親家庭に実態などを教科書やニュースなどから理解しておく 90分 〈復習〉多様な家庭への支援はどのようにすることが適切なのかをまとめる 90分
	11	特別な配慮を要する子どもと家庭 〈予習〉特別な配慮を要する子どもとはどのような事かについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉保育所としてどのような配慮が必要なのかについて整理する 90分
	12	なぜ子どもの精神保健を学ぶのか 子ども生活・生育環境とその影響 〈予習〉環境の力が及ぼす影響について教科書を熟読する 90分 〈復習〉配布資料やルーマニアの事例などから発達の可逆性について考えを整理する 90分
	13	子どもの心の健康にかかわる問題 〈予習〉様々な障害や疾患などについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉心の健康に関わる問題を抱えた子どもに対しての適切な保育について整理する 90分
	14	災害と子ども 〈予習〉配布された資料を熟読する 90分 〈復習〉災害と精神的な健康にどのような関係があり、保育者としてどう関わるかについてまとめる 90分
	15	こども家庭支援の心理学のまとめをする 〈予習〉配布された資料や教科書を再度読み込む 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学についての知見をどの程度理解できたかノート整理をする 90分
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	子どもの理解と援助			教員名	富田 久枝		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの理解と援助〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/幼児理解の理論及び方法〕			ナンバリング	2D303		
授業内容を示すキーワード	子ども理解、発達の過程への理解と支援、記録方法と活用、子育て支援、保育者の援助と共感的理解						
授業の概要	保育実践の場における幼児理解の意義と重要性を理解し、幼児の発達や学習過程で生じるつまずきの要因を把握するために必要な原理や観察・記録の在り方について、個々の幼児の発達段階や集団との関わり、家庭との連携を含めて考察する力を事例やグループ討議を通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子ども理解のための知識・考え方・基礎的態度を理解すると共に、子どもを理解する方法を具体的に学び、保育実践で活用できるようにする。 【到達目標】 (1)乳幼児期の子どもの遊び及び生活の実態に即した幼児理解の意義を理解する。 (2)子どもの理解を深めるための基礎的な態度を理解する。 (3)観察・記録の意義と目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 (4)保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解する。 (5)特別な配慮、就学への配慮等の実践的な配慮を具体的に学ぶ。						
授業の方法等	子ども理解と援助、評価の基本について必要な事項を教科書等を中心に、教育実習3週分を除く12回(合計48時間)の授業を行います。 この学習をもとに、VTRを使った観察記録の作成や、事例や課題レポートの発表、協議を進めます。主体的に課題等に取り組む予習・復習がなされていることを前提とした授業展開になります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	「子どもの理解と援助(新・基本保育シリーズ 10)」[ISBN:978-4805857908] 監修:公益財団法人 編集:清水益治・森俊之 中央法規						
参考書	「幼稚園教育要領」文部科学省						
関連科目	保育の心理学						
質問受付の方法	適宜講師控室等で対応します。						
履修上の注意	講義の記録、作成した課題レポート等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	1	幼児理解の意義と必要性(現代的な課題と乳幼児の心身の発達) 〈予習〉シラバスの熟読と自己の学びへの展望を考える 45分 〈復習〉幼児理解に関わる現代的課題を調べて整理する 45分
	2	幼児の発達や学びのとりえ方(遊びや生活を通しての経験的・対話的な深い学び) 〈予習〉幼児期の遊びの特徴や生活の様子を調べる 45分 〈復習〉幼児期の学びで展開される経験的・対話的な学びについて事例をまとめる 45分
	3	幼児の発達に関わる多様な課題(特別な支援を要する子ども、要保護家庭などの現代的な課題と支援方法) 〈予習〉特別な支援を要する子どもの特徴や要保護家庭について調べ学習をする 45分 〈復習〉特別な支援について学んだ内容を整理して課題を理解する 45分
	4	幼児理解を深める保育者の姿勢(保育者の子ども観・保育観の重要性) 〈予習〉保育者の専門性について調べ、自分の保育に対する考えをまとめる 45分 〈復習〉子どもとはどのような存在か、保育とは何をする事かといった授業で学んだことを復習する 45分
	5	集団と個の関係の在り方・見方(集団による学び合いや規範意識の育ちについて) 〈予習〉規範意識の発達について調べる 45分 〈復習〉集団生活における規範の重要性を整理する 45分
	6	特別な支援を必要とする子どもの事例から学ぶ①(発達の視点と子どもへの支援検討) 〈予習〉発達障害の特徴を整理して事前に理解する 45分 〈復習〉事例で扱われた障害特性を整理して障害への理解を深める 45分
	7	特別な支援を必要とする子どもの事例から学ぶ②(保護者への支援とその連携を検討) 〈予習〉保護者の困り感を事前に調べる 45分 〈復習〉教科書の指定したページをまとめる(特別支援の理解) 45分
	8	観察・記録の方法と分析・考察の視点(観察法の利点とその活用法) 〈予習〉観察の視点や様々な観察法について事前に教科書を熟読する 45分 〈復習〉事例への回答を記入し観察の視点を理解する 45分
	9	観察・記録のまとめについての発表と協議(記録に基づく省察と評価とアセスメント) 〈予習〉観察・記録をまとめて発表の準備を行う 45分 〈復習〉観察・記録のまとめについての発表の省察を行う 45分
	10	保護者支援の方法～ロールプレイで学ぶ～(カウンセリングの技法の活用と共感的理解) 〈予習〉保護者支援の主な内容や保護者の困り感を教科書等で事前に学習する 45分 〈復習〉ロールプレイで気づいたことをレポートにまとめる 45分
	11	家庭や地域との連携と支援体制と子育て支援の課題検討(地域資源の発掘:エコマップの作成と検討) 〈予習〉自分を取り巻く地域資源を5つ以上あげてその特徴や利便性等ノートに整理する 45分 〈復習〉自分たちが作ったエコマップへの感想を書く 45分
	12	子ども理解についてのまとめ(各自の学びをレポートにまとめ発表) 〈予習〉各自の子ども理解に関する学びレポートの発表準備 45分 〈復習〉子ども理解に関する課題のレポート作成 45分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子どもの食と栄養			教 員 名	田中 直代		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	前期	単 位 数	2	授 業 形 態	演習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修[子どもの食と栄養]				ナンバリング	2D305	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	乳汁栄養、五大栄養素、水分、食育、食物アレルギー、児童福祉施設						
授 業 の 概 要	子どもが健康に発育し、成長するためには適切な量と質の食事は大切であることを理解します。栄養学の基礎、子どもの成長による生理的変化や栄養状態を評価する方法を理解します。また、料理選択型栄養教育である「3・1・2弁当箱法」、「育児用ミルクの調乳」、「離乳食の試食」について演習を行います。これらを通して、子どもや保護者への支援となる知識や技術を修得します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	<p>【ねらい】</p> <p>子どもの各発達段階における食と栄養の重要性を理解します。子どもの食生活の現状と課題を理解します。食の伝承を受け継ぎ豊かな食生活を伝える担い手となれるように食に関心を持ち、子どもや保護者とともに食を楽しみます。体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもに対する食事の対応を理解します。これらを通して、保育士として、子どもや保護者に適切な支援をする姿勢や態度を身に付けるために学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的な知識を理解する。 (2)子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 (3)食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題を説明することができる。 (5)特別な配慮を要する子どもの食と栄養について適切に対応することができる。</p>						
授 業 の 方 法 等	・講義・演習を合わせて行います。パワーポイントのスライドと配布プリントによる講義形式です。 ・演習①3・1・2弁当箱法の実習をカフェテリアで行います。②育児用ミルクの調乳の技術を身に付け、離乳食の試食を行います。 ・授業によっては色鉛筆を使います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕60％ ■授業への取り組み・態度(ファイルノート点検)10％ ■提出物(演習について3回)30％						
教 科 書	「子どもの食と栄養」(ISBN:978-4521749341) 児玉浩子 中山書店 「食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表」(ISBN:978-4469270129) 大修館書店						
参 考 書	「授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き」財団法人母子衛生研究会編 母子衛生事業団 「子どもの食と栄養演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房						
関 連 科 目	保育内容健康 乳児保育Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	授業中、授業前後で随時受付ます。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席をしないでください。演習では髪をまとめ、爪を切る、適切な服装で受講してください。エプロン、三角巾、弁当箱を用意します。配布資料は授業中に書き込みをし、A4判2穴ファイルに整理と保存します。後日、提出と点検があります。色鉛筆を使うので用意をしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	子どもの健康と食生活 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	2	栄養・食に関する基本的知識 (1)消化吸収の仕組み 〈予習〉P26、27「便の特徴」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	3	栄養・食に関する基本的知識 (2)タンパク質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉食品成分表よりタンパク質を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	4	栄養・食に関する基本的知識 (3)糖質、脂質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉食品成分表で炭水化物、脂質、コレステロールを多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	5	栄養・食に関する基本的知識 (4)ビタミンの代謝、ミネラルの代謝と栄養学的意義、食物繊維と水分 〈予習〉食品成分表で水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン等多く含む食品を調べる。プリント提出。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	6	栄養・食に関する基本的知識 (5)妊婦・授乳婦の食事摂取基準、食事バランスガイド 〈予習〉ファイルノートを提出準備。食品成分表P156で葉酸を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	7	栄養・食に関する基本的知識 (6)学童・思春期の食事摂取基準 3・1・2弁当箱法(演習) 〈予習〉配布したプリントを読む。弁当箱、エプロン、三角巾、色鉛筆を用意する。90分 〈復習〉写真を貼り、プリントに必要事項を記入し提出する。90分
	8	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1)乳幼児期の咀嚼機能の発達と食事提供 DVD視聴 〈予習〉P53「咀嚼機能の発達の目安について」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	9	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2)乳児期栄養-乳汁栄養 〈予習〉P62「母乳栄養の利点と留意点」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	10	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3)乳児期栄養-乳汁栄養 調乳(演習) 〈予習〉P67「育児用ミルクの調乳方法」を熟読する。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	11	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (4)乳児期栄養-離乳食期栄養 〈予習〉P74「幼児期の成長と発達」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	12	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (5)乳児期栄養-離乳食期栄養(演習) 〈予習〉配布したプリントを読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	13	食育の基本と実践 〈予習〉P88「食育基本法の概要」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	14	児童福祉施設や家庭における食と栄養 〈予習〉P112「児童福祉施設での食事の提供で注意すべき点」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	15	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 / まとめ 〈予習〉P136「食物アレルギー」を読む。90分 〈復習〉定期試験対策資料を作成する。180分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の内容・方法に関する科目

授 業 科 目 名	保育・教育課程論			教員名	高後 仁		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育課程論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育課程の意義及び編成の方法〕				ナンバリング	2D401	
授業内容を示すキーワード	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
授業の概要	幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育課程論と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園及び保育所における、カリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる保育者としての専門的な知識・技能を養う。 【到達目標】 上記のねらいを達成するために、各カリキュラムについて理解し、保育士・幼稚園教諭として資質の向上と子どもたちのために、カリキュラムからしっかり指導計画の作成ができるようにする。						
授業の方法等	講義形式で進める。できるだけ具体的な内容の提示をし、理解を深めていく。授業時間内において、レポートの提出を行うほか筆記試験を実施する。 ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	保育者養成シリーズ「教育・保育課程論」(株)一藝社 高橋弥生・大沢裕 編著						
参考書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関連科目	保育・教育職の研究、教育方法・技術論、保育内容総論						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応する。						
履修上の注意	講義の記録、配布した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	教育要領の性格、位置づけ並びにカリキュラム編成の基本 〈予習〉教科書第1章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	2	教育要領改訂の変遷、主な改定内容と社会的背景 〈予習〉教科書第1章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	3	保育課程・教育課程の必要性 〈予習〉教科書第2章1・2を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	4	保育所保育指針と保育課程編成の基本と留意点 〈予習〉教科書第3章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	5	【オンデマンド(遠隔)】幼稚園教育課程の基本と編成に向けて 〈予習〉教科書第4章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	6	【オンデマンド(遠隔)】教育課程編成の留意点 〈予習〉教科書第5章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	7	【オンデマンド(遠隔)】指導計画作成の手順と留意点 〈予習〉教科書第6章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	8	保育方法と指導計画及び記録による反省 〈予習〉教科書第7章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	9	指導要録の構成と記載法 〈予習〉教科書第8章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	10	保育の基本と保育指導計画 〈予習〉教科書第9章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	11	幼稚園における指導計画 〈予習〉教科書第10章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	保育形態に応じた指導計画 〈予習〉教科書第11章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	年間計画と行事 〈予習〉教科書第12章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性 〈予習〉教科書第13章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	15	評価の基本的考え方や対象 〈予習〉教科書第15章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	保育内容総論 *			教員名	橋 和代 / 室井 佑美		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育内容総論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）〕			ナンバリング	2D402		
授業内容を示すキーワード	幼児教育 乳児保育 発達 養護と教育 生活と遊び 個と集団 総合的な指導 指導計画 模擬保育 評価						
授業の概要	乳児保育、幼児教育の施設において、園生活全体を通じて総合的に指導するという考え方を理解した上で、具体的な乳幼児の姿と関連付けながら、環境構成、保育実践をするために必要な知識・技術を身に付けます。 保育士として保育現場や教育現場での勤務経験を有する教員であることから、子どもの具体的な姿と関連させ、遊びや生活の中でどのような経験をしているのか、五領域のねらいおよび内容とのつながりを意識した、相互的、総合的な視点を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児教育における見方・考え方や保育内容との関連を理解します。指導計画の全体像を理解し、乳幼児の実態に即した具体的な保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）につなげられる知識と技術を養います。 【到達目標】 (1) 幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」について説明し、それぞれの関連性を概説できる。 (2) 乳幼児の発達、興味や関心、生活を取り巻く実情に即した指導計画を立案できる。 (3) 保育の多様な展開について、園行事や社会的イベントなども踏まえながら、求められる在り方を説明できる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。教員2人体制でクラスを分けて授業を展開します。一部、授業内で視聴覚教材も使用します。グループワークでの模擬保育の実践、実際のイベントの企画、展開をします。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教科書	○「マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論」〔ISBN: 978-4909378125〕開仁志著 教育情報出版 ○「保育所保育指針解説」〔ISBN: 978-4577814482〕厚生労働省（編集）/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」〔ISBN: 978-4577814475〕文部科学省（編集）/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」〔ISBN: 978-4577814499〕内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	その他、授業中に適宜紹介、資料を配布します。						
関連科目	健康と人間関係の指導法 環境の指導法 言葉と表現の指導法 保育・教育課程論 特別支援教育						
質問受付の方法	適宜、担当教員のオフィスアワー、EduNaviのチャットなどで受け付けます。						
履修上の注意	毎回、配布した資料は2穴ファイルなどに整理し、学んだことをまとめておきましょう。 授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNaviにて資料、課題の把握、授業内容の確認などとして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション、幼児教育(就学前教育)の基本と保育内容の全体構造〔担当:室井〕 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉教科書の指定されたページを読む 180分
	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における全体構造の理解〔担当:室井〕 〈予習〉第1回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分
	3	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容の理解〔担当:室井〕 〈予習〉第2回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分 生活や遊びを通しての総合的な指導の実際と保育者の役割〔担当:室井〕
	4	〈予習〉第3回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分 養護および教育が一体的に展開する保育の実際と保育者の役割〔担当:室井〕
	5	〈予習〉第4回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書で指定したページを読む 90分 個と集団の発達を踏まえ、環境を通して行う保育の実際と保育者の役割〔担当:室井〕
	6	〈予習〉第5回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書で指定したページを読む 90分 子ども理解に基づく評価の在り方〔担当:室井〕
	7	〈予習〉第6回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書で指定したページを読む 90分 乳幼児にとつての行事の意味と園行事の在り方と実際〔担当:橋/室井〕
	8	〈予習〉第7回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉第8回のテーマに沿った指導案を作成する 90分 子どもの実態に沿った、物や人との関わりを深める情報機器・教材の活用と実際〔担当:橋〕
	9	〈予習〉第8回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉模擬保育に向けた教材を準備する 90分 幼児教育における指導計画の考え方や作成の手順・配慮点〔担当:橋〕
	10	〈予習〉第9回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉立案した指導案を修正する 90分 模擬保育と振り返り(時間/環境構成/保育者の援助/臨機応変な対応)〔担当:橋〕
	11	〈予習〉第10回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉実践した指導案を評価する 90分 家庭や地域、社会資源等との連携を踏まえた保育の実際と保育者の役割〔担当:橋〕
	12	〈予習〉第11回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書で指定したページを読む 90分 小学校等との連携を踏まえた保育の実際と保育者の役割〔担当:橋〕
	13	〈予習〉第12回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書で指定したページを読む 90分 特別な支援を必要とする子どもの保育の実際と保育者の役割〔担当:橋〕
	14	〈予習〉第13回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉教科書で指定したページを読む 90分 多文化共生の保育の実際と保育者の役割〔担当:橋〕
	15	〈予習〉第14回で配布した資料を読む 90分 〈復習〉第15回で配布した資料を読む 90分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却〕	

授業科目名	乳児保育Ⅱ			教員名	山田 真由美		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅱ〕				ナンバリング	2D412	
授業内容を示すキーワード	学びの芽生え 受容的・応答的な関わり 子どもの主体性 具体的実践						
授業の概要	「乳児保育Ⅰ」を基礎に、さらに実践的な知識と技術を身につけることを目指します。学びの中で「乳児保育に大切なことは何か」を深めていきます。保育技術の手順や実例を授業に多く取り入れ、保育の場で活かすことができるようになります。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳児保育(3歳未満児)の重要性を認識するとともに、具体的援助や関わりを習得し、専門性を高める。 【到達目標】 (1) 3歳未満児の発達、特性を踏まえた援助や関わりの方の基本的な考え方について理解する。 (2) 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。 (3) 乳児保育の配慮の実際について、具体的に理解する。 (4) 乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。						
授業の方法等	講義・演習を中心に、教育実習3週分を除く12回(合計48時間)の授業を行います。一部、アクティブラーニングの手法を取り入れ、グループワークなどを行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10% 						
教科書	「演習で学ぶ乳児保育」〔ISBN: 978-4907270292〕 善本真弓(編著) 小山朝子 亀崎美佐子 わかば社						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	乳児保育Ⅰ						
質問受付の方法	適宜、講師控室等に対応します。						
履修上の注意	毎回授業内容を記録し、大切なポイントを把握できるようにしましょう。復習は次回の小テストに反映されますので、教科書や記録を見返す習慣を身につけてください。						

授業計画 と 時間外学習	1	乳児保育の意義 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。90分
	2	日課・乳児保育を支える連携 〈予習〉乳児保育の施設では保育者の他に、どのような職種の職員が働いているのか、調べる。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	3	食事の援助と環境 〈予習〉手づかみで食べられる食材にはどのようなものがあるか調べて書き出してみる。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	4	排泄の援助と環境 〈予習〉低年齢児のトイレの環境構成をイメージしながら、重要と思われる内容を書き出してみる。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	5	睡眠・清潔に関する援助と環境 〈予習〉睡眠や清潔に関する絵本や紙芝居を調べる。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	6	着脱に関する援助と環境 〈予習〉子ども用の売り場で衣服や靴、帽子などを実際に見ておく。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	7	乳児保育における健康と安全 〈予習〉健康状態を観察するポイントを覚える。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	8	乳児保育における健康と安全(多くの事例を中心に考察) 〈予習〉身近な事例について考察する。45分 〈復習〉さまざまな事例について、保育者として配慮すべき点を確認しておく。45分
	9	乳児(0歳児)の保育内容と遊び 〈予習〉「見て楽しむおもちゃ」「音を楽しむおもちゃ」「触って楽しむおもちゃ」にはどのようなものがあるか調べる。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	10	1歳以上3歳未満児の保育内容 〈予習〉遊びはすべて5領域が相互に関連していることを踏まえ、5領域を確認しておく。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、キーワードを確認しつつ、小テストに備える。45分
	11	1歳以上3歳未満児の遊び 〈予習〉絵本「おおきなかぶ」から考えられる遊びをより多く書き出してみよう。45分 〈復習〉記録した授業内容・教科書を読み返し、遊びの工夫や援助についてまとめる。45分
12	乳児保育における計画と評価 〈予習〉エピソード記録を想定する。45分 〈復習〉定期試験対策を進める。45分	
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	社会的養護Ⅱ			教員名	宇田川 和久		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会的養護Ⅱ〕				ナンバリング	2D415	
授業内容を示すキーワード	社会的養護、家庭養護、施設養護、子どもの人権、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画						
授業の概要	児童福祉施設の概要等について振り返りを行うとともに、児童福祉施設を利用している子どもたちの生活の様子や心情を理解するため、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童観や施設養護観などを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、望ましい援助の在り方などを学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識や心構えを習得します。 【到達目標】 (1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士に求められる資質について理解する。 (2)施設養護等の社会的養護の実践について理解する。 (3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。 (4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。 (5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。						
授業の方法等	教育実習の3週分を除く、12回(合計48時間)の授業を行います。 演習科目であることから、事例に関わるグループ討議や報告発表等を可能な限り行い、アクティブラーニングの手法を取り入れ学生が主体的に参加する授業を行います。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行う予定です。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10% 						
教科書	「社会的養護(2)(新・基本保育シリーズ®)」〔ISBN:978-4805857984〕相澤仁、村井美紀編 中央法規						
参考書	厚生労働省ホームページ						
関連科目	子ども家庭福祉、社会的養護Ⅰ、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応します。						
履修上の注意	グループ討議や講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	子どもの権利擁護
	1 <予習>子どもの権利擁護に関する報道や虐待などの情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	社会的養護における子どもの理解
	2 <予習>児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	施設養護(乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設)の特性及び実際①
	3 <予習>提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際②
	4 <予習>提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際
	5 <予習>虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	社会的養護におけるケアマネジメント
	6 <予習>社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
アセスメントと個別支援計画の作成	
7 <予習>自立支援計画に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
事例分析(日常生活支援、心理的支援)	
8 <予習>提出課題の調査をする。45分 <復習>事例分析の整理をする。45分	
事例分析(自立支援)と記録の意義	
9 <予習>提出課題の調査をする。45分 <復習>事例分析の整理をする。45分	
社会的養護における保育士の専門性	
10 <予習>社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
社会的養護におけるソーシャルワーク	
11 <予習>社会的養護全般の情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
今後の社会的養護の課題と展望	
12 <予習>提出課題の調査をする。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	環境の指導法			教員名	野口 一夫 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕			ナンバリング	2D418		
授業内容を示すキーワード	幼保小の連携 スタートカリキュラム 野菜栽培 カルタあそび 自然とあそぶ エコグッズの制作 エコクッキング						
授業の概要	幼児の身近な環境との関わりとして、野菜栽培や伝統的な遊び、自然と直接遊んだり、制作したりする体験を通して領域「環境」を理解し、小学校との円滑な接続について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入りにていこうとする経験と、小学校以降の教科とのつながりを理解することができる。 【到達目標】 幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けることができる。						
授業の方法等	教育実習の3週分を除く12回(合計48時間)の授業を、2名の教員で原則クラス分けて授業を行います。ファームでのフィールドワーク活動(土づくり、追肥、除草、収穫、収穫祭) VTR・DVD視聴 あそびと制作等、具体的な体験を通して学びます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	適宜、資料を配付						
参考書	「生活科」教科書 野口一夫 共著 啓林館 「保育内容 環境」 神長美津子・堀越紀香・佐々木晃 編著 光生館 2018 「生活科指導」ビデオ 野口一夫他製作 「環境・エコへの道標」 野口一夫著 雄文社 2016						
関連科目	保育内容環境 子ども文化演習B(自然とあそび) レクリエーション・野外活動						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出します。レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意してください。ファームで活動ができる服装(ジャージ、スニーカー等) 色鉛筆を準備してください。						

授業計画 と 時間外学習	幼稚園教育の基本と小学校との接続・連携 ～生活科との関わり～〔担当:野口/高後〕
	1 <予習>「生活科」とはなにか調べる 45分 <復習>接続と連携の重要性を整理する 45分
	2 アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムと領域「環境」生活科の教科書〔担当:野口〕 <予習>アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを調べる 45分 <復習>学習内容を整理する 45分
	3 草花とあそぶ ネイチャーゲームを楽しむ〔担当:高後〕 <予習>ネイチャーゲームとは何か調べる 45分 <復習>学習内容を整理する 45分
	4 みんなで育てよう! やさい①種、苗の観察 サツマイモ植え〔担当:野口/高後〕 <予習>ナス、ピーマン、シシトウ、ポップコーンについて調べる 45分 <復習>種や苗の植え方を体験を通してポイントを整理する 45分
	5 みんなで育てよう! やさい②成長の観察〔担当:高後〕 <予習>時々観察することによって新しい発見をする 45分 <復習>見る 触る 聞く 嗅ぐ 心で感じる 比べる スケッチ などの観点を整理する 45分
	6 自然とあそぼう ①ササ舟・草笛・紙笛や葉っぱ〔担当:野口〕 <予習>クマザサ、紙、葉っぱなどの自然等の自然物に目を向け、遊びを考える 45分 <復習>身近な自然とあそぶ楽しさを整理する 45分
	7 自然とあそぼう ②折り紙ヒコーキ・発泡スチロールヒコーキ〔担当:野口〕 <予習>簡単に作ってあそべる物を調べる 45分 <復習>実習等で幼児にも簡単に作れることを学び、実践しようとする 45分
	8 伝統的なあそび(カルタ等)を制作する エコカルタ〔担当:高後〕 <予習>伝統的なあそびを調べる 45分 <復習>既成の物や自作した物を体験しする 45分
	9 伝統的なあそび(カルタ等)で遊び体験する〔担当:高後〕 <予習>遊び方を工夫しポイントを整理する 45分 <復習>既成の物や自作した物を体験し、ポイントを整理する 45分
	10 環境関連のDVD視聴、エコグッズの制作〔担当:野口〕 <予習>エコグッズやエコクッキングについて調べる 45分 <復習>エコについての知識を深め、ポイントを整理する 45分
	11 やさいの収穫祭を楽しもう!〔担当:野口/高後〕 <予習>食育の意義を調べる 45分 <復習>やさいを育てる過程で、命あるものを食することの意義を深め自然の恵みに感謝する 45分
12 振り返り アンケート〔担当:野口/高後〕 <予習>今までの学習の振り返り 45分 <復習>総復習 45分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	子ども文化演習B			教 員 名	福泉 博子 楠原 竜也 / 酒井 誠		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	2D423	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	総合的な表現、表現の過程、創造性、協働性、表現力、コミュニケーション、表現技術、保育者としての資質・能力						
授 業 の 概 要	2年間の学びを活かしながら、身体表現・音楽表現・造形表現のそれぞれの特徴を生かした作品を制作します。11月中旬に開催予定行事「Yamamura Juhla Juhla」にて発表しますので、子どもたちが鑑賞する事を意識した作品作りをしてください。 子どもの心性に基づき意図をもって主体的に作品を創作すること、教員や仲間と協働すること、自身が舞台や制作物で表現することを通して、保育者としての資質・能力や社会人基礎力を高めていきます。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 子どもたちが鑑賞する事を目的とした作品の創作・実演を通して、表現についての具体的な知識・技能・身体知を身につけること、体験過程を通して自身の思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、創造性、コミュニケーション能力等の実態に気づき、それらの能力を活かしたり向上させることをねらいとする。 【到達目標】 ①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。 ②自身の表現力・表現技術を身につける。 ③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。 ④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。 ⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授 業 の 方 法 等	講義、制作、実技、演習、発表、グループワークを併用して展開します。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 70% ■提出物 10%						
教 科 書	使用しません。必要に応じてプリントを配布します。						
参 考 書	適宜紹介します。						
関 連 科 目	保育内容表現、言葉と表現の指導法、音楽、音楽表現の探究、図画工作、造形表現の探究、ダンスムーブメント						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	①責任のある行動を求めます。報連相に努め、チームの一員という自覚をもって取り組んでください。 ②グループ活動への積極的な参加、自主的な練習が求められます。授業外での準備や練習を行う場合があります。日常から表現に興味を持って、積極的に様々な表現に触れる機会を作ってください。 ③Yamamura Juhla Juhlaに合わせて授業時間が変更になる場合がありますので注意してください。 ④グループワーク時は、手指の消毒、マスクの着用等のコロナウイルス感染症の予防対策を必ず行いましょう。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解) 各分野の内容説明と希望調査	
	1	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	2	グループ分け・各班リーダー決め テーマ・作品決め 計画表作成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	3	グループワーク 作品制作 ≪造形・音楽≫ 空間制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	4	グループワーク 作品制作 ≪音楽・造形≫ 音楽絵本制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	5	グループワーク 作品制作 ≪身体表現≫ 舞台パフォーマンス 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	6	グループワーク 作品制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	7	グループワーク 作品制作 中間発表 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	8	グループワーク 作品制作 舞台発表グループ通しと全体調整 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	9	グループワーク 作品制作 舞台発表グループ通しと全体調整 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	10	グループワーク 作品制作 舞台発表グループ通し 当日の役割分担について 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	11	全体調整ミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	12	通し(全体調整・制作過程について) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	13	リハーサル 当日の動線の確認 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	14	片付け・振り返り 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉本番の振り返りと片付け 90分
15	省察・授業のまとめ 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉レポートに向けて考察をまとめておく 90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時に返却します〕	

授業科目名	ピアノB			教員名	福泉 博子 数野 麻衣子/大導寺 俊平/町田 百合絵 福士 紗希 / 中川 悠子 / 宮尾 夕華		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	2D425	
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 習熟度別 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授業の概要	「音楽」「ピアノ」における習得成果を踏まえ、保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。個々のレベルに合わせた個人レッスンを行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる要求に応えられる専門性を身につけることができます。 習熟度の低い学生は、読譜力と演奏技術の向上を目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○習熟度の低い学生はバイエル100番程度の難易度の曲が演奏できる。弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようになる。 ○中上級者はブルグミュラー、ソナチネ、ソナタや、それらと同等のピアノ曲を演奏することができる。 また、コードや伴奏法を用い、童謡などに伴奏がつけられるようになる。						
授業の方法等	○教育実習3週分を除く、12回(合計48時間)の授業を行います。 ○演習(実技)形式で行います。 ○個人レッスンを毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験[実技(ピアノ)40%・弾き歌い40%]80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む)20%						
教科書	・全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ・ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) / ・ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ・2021年度入学生ピアノ特別講座楽譜集(ピアノ・弾き歌い進捗表付き) ・保育士のための こどものうた名曲集150(シンコーミュージック出版) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書	やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100(チャイルド社) 2021年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表 やまたんテキストvol.4						
関連科目	音楽 音楽表現の探究 ピアノA						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 楽譜や教材、2021年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表を毎回必ず持参してください。 楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参してください。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意しましょう。						

授業計画と時間外学習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉教育実習Ⅱピアノ見極めテストの練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	2	2~11回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン ※2回目に教育実習Ⅱの見極めテスト 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	3	拍子とリズム テンポ 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	4	強弱法 音階法 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	5	曲想やフレーズについて 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	6	調性と移調について 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	7	伴奏法についてⅠ ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(童謡と唱歌 明治大正) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	8	伴奏法についてⅡ ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(童謡と唱歌 昭和平成) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	9	伴奏法についてⅢ ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(季節の歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	10	伴奏法についてⅣ ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(テレビ・アニメ) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	11	総復習 伴奏法 歌唱法 初見 曲想 強弱 他 子どもの歌弾き歌い 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	12	実技試験リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 30分 試験曲の練習(歌唱練習含)毎日30分程度
定期試験	◆定期試験[実技]80分 ◆振り返り・フィードバック[試験の講評を行う]10分	

教職に関する科目

授業科目名	教育相談			教員名	原田 友毛子		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法〕						
授業内容を示すキーワード	教育相談、幼児、カウンセリングマインド、カウンセリング 教育的課題 連携						
授業の概要	学校における教育相談の基本となる考え方を学びます。幼児期、児童期の発達を視点に持ち、個々の心理的特質や教育的課題を、より幅広く、より深く捉えることを目指します。特に、幼児期における自己理解、望ましい人間関係の構築、集団の中で適応する生活力を育めるよう支援するための、基礎的知識(意義、理論、技法)を身に付けます。また、教育相談は事例から学ぶ事が多いので幼児教育に関する事例を毎回取り上げて学習していきます。						
授業のねらいと到達目標	<p>教育相談における教育活動の基盤となる、幼児期・児童期の発達に即した理論及び心理学理論に基づき、実際の教育的課題への対応に向けた基礎的知識と技能を身に付けることができる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)学校における教育相談の意義と理論を理解し、概説できる。 (2)教育相談を進める際に必要なカウンセリングに必要な基礎的知識を理解し、カウンセリング技法を活用できる。 (3)教育相談の展開過程を理解し、留意点や配慮点を説明できる。 (4)教育相談における連携や協働の必要性を教育的課題から理解できる。</p>						
授業の方法等	講義中心であるが、各々の理論を保育者の観点から演習等も行います。視聴覚教材を活用しながら事例検討も交えたグループワークも行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 10%						
教科書	「教育相談の理論と方法～コアカリキュラム対応～」〔ISBN:9784779305986〕会沢信彦編 北樹出版						
参考書	「保育・教育相談支援-子育てを支える」太田光洋著 建帛社						
関連科目	保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、子育て支援						
質問受付の方法	授業終了直後、または講師控室にて対応します。						
履修上の注意	配布した資料は丁寧に整理、保存してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	学校における教育相談の意義と課題 〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉教育相談の全体構造について整理する 90分
	2	教育相談に関わる心理学の基礎的理論と概念 〈予習〉各カウンセリング理論について教科書を確認する 90分 〈復習〉本時のねらいについて整理する 90分
	3	学校・保育所におけるカウンセリング 守秘義務・受容のかかわり 〈予習〉保育所におけるカウンセリングの基礎的なことを理解しておく 90分 〈復習〉交流分析で得た自分自身の傾向性について思索する 90分
	4	カウンセリングの基本技法 〈予習〉カウンセリングマインドとは何かについて基礎的な知識を調べておく 90分 〈復習〉授業で得たコーヒーカップ方式(園分)について日常生活で実践してみる 90分
	5	教育相談におけるアセスメント 〈予習〉子どもの言動についてアセスメント方法を読む 90分 〈復習〉アセスメントについて教育実習での経験を整理する 90分
	6	幼児期の発達課題と教育相談 〈予習〉保育所の特性を活かした保育相談支援について考える 90分 〈復習〉カウンセリングマインドを活かして一日を送りその感想をまとめる 90分
	7	児童期の発達課題と教育相談 〈予習〉リレーション形成に欠かせない技法としての受容や傾聴の例を自己の体験から思い出しておく 90分 〈復習〉授業中に行った「傾聴・受容」の体験について整理する 90分
	8	思春期・青年期の発達課題と教育相談 〈予習〉思春期や青年期について自分の経験と照らして教科書を読む 90分 〈復習〉授業中の内容についてノートを整理する 90分
	9	いじめ問題への対応 〈予習〉いじめ問題への対応について教科書を読む 90分 〈復習〉ケースによってどのような目標を立てて教育相談を実施するか整理する 90分
	10	不登校(園)と教育相談 〈予習〉自身の体験と照らし合わせながらいじめ・不登校などについて教科書を読む 90分 〈復習〉事例によってケースバイケースであることについて感想をまとめる 90分
	11	保護者支援と教育相談 〈予習〉保護者対応の大切さについて教科書を読み自分なりの考えをまとめる 90分 〈復習〉実際の事例を検討して対応策についてノートを整理する 90分
	12	担任が行う教育相談 〈予習〉学級崩壊がいじめや不登校を引き起こしている現状から、その対応策について教科書を読む 90分 〈復習〉授業中に行った相談場面でのロールプレイについて感想をまとめる 90分
	13	【オンデマンド(遠隔)】全体を進める教育相談(計画作成と園内体制整備等) 〈予習〉教育相談についての年間指導計画について教科書を読む 90分 〈復習〉教育実習を行った園の教育相談体制についてまとめる 90分
	14	【オンデマンド(遠隔)】スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの役割 〈予習〉各専門機関との連携について配布された資料を読む 90分 〈復習〉専門機関との連携の実例についてノートを整理する 90分
	15	【オンデマンド(遠隔)】専門機関との連携 教育相談のまとめ 〈予習〉 配布された資料や教科書を再度読む 90分 〈復習〉 教育相談についての知識をどの程度理解できたかノートを整理する 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	教育行政学			教員名	宇田川 和久 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修 〔教育の基礎的理解に関する科目/教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)〕			ナンバリング	2D503		
授業内容を示すキーワード	教育行政、教育制度、学校運営協議会、学校安全						
授業の概要	わが国の公教育制度の原理や制度を支える教育法規の体系を理解すると共に、学校経営とその評価やこれからの学校と地域社会との連携の在り方、学校管理下における事故の実情を踏まえた危機管理や学校安全の取り組みなどについて、課題作成や協議を通して理解する。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 公教育制度の意義やその法的・制度的仕組み、近年の教育政策の動向、地域との連携を図った学校経営の在り方、学校安全の目的と具体的な取り組みに関する基礎的な知識を習得する。</p> <p>【到達目標】 (1)わが国公教育制度の原理と近年の教育政策の動向を理解できる。 (2)学校経営の仕組みと学校評価の在り方を理解できる。 (3)学校と地域社会との連携や協働の意義と実際について理解できる。 (4)学校安全の必要性と具体的な取り組みを理解できる。</p>						
授業の方法等	授業では、自身の出身小・中学校や住所地の市町村教育委員会の教育行政の実情等の調査課題を通して、公教育制度の実際について理解を図ることができるようにします。そのために、レポート作成・発表・協議など学生の主体的な学びを大切にします。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30% 						
教科書	「新しい教育行政学」〔ISBN:978-4623070374〕 河野和清 編著 ミネルヴァ書房						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 「小学校学習指導要領」「埼玉県教育行政重点施策」 他、文部科学省ホームページ						
関連科目	教育原理						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	1	わが国の公教育制度の原理と学校体系〔担当:宇田川〕 〈予習〉第1章「わが国の公教育制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	2	教育法規の体系と教育基本法改正後の動向〔担当:宇田川〕 〈予習〉第2章「教育法制の構造と機能」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	3	教育行政の概念と基本理念〔担当:宇田川〕 〈予習〉第3章「教育行政の概念と基本理念」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	4	教育行政の構造と機能〔担当:宇田川〕 〈予習〉第4章「教育行政の構造と機能」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	5	学校経営の仕組みと学校評価〔担当:高後〕 〈予習〉第5章「学校経営」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	6	教育課程行政の仕組み〔担当:高後〕 〈予習〉第6章「教育課程行政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	7	教職員の職務と教員評価制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第7章「教職員の職務と教員評価制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	8	教員養成・研修制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第8章「教員養成・研修制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	9	生涯学習時代における社会教育行政の課題〔担当:宇田川〕 〈予習〉第9章「社会教育行政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	10	幼稚園・保育所の行政制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第10章「保育行政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	11	教育財政の規模と構造〔担当:宇田川〕 〈予習〉第11章「教育財政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	12	学校の危機管理と学校安全〔担当:高後〕 〈予習〉第11回で配布した資料を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	13	イタリアやアメリカの教育行政制度〔担当:高後〕 〈予習〉第13章「アメリカの教育行政制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	14	フィンランドやドイツなどの教育行政制度〔担当:高後〕 〈予習〉第19章「フィンランドの教育行政制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	15	わが国教育行政の課題と展望〔担当:宇田川〕 〈予習〉第12章「わが国の公教育制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	保育・教職実践演習(幼稚園)			教員名	橋本 淳一 巢立 佳宏 / 楠原 竜也		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔 保育実践演習 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 教職実践演習 〕					ナンバリング	2D504
授業内容を示すキーワード	保育者としての資質・能力 フィールドワーク グループワーク ロールプレイ ICT ビデオ録画						
授業の概要	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、特に現場経験のある教員からその職務経験を生かしたフィールドワーク(保育実践)、グループワーク(壁面製作)、ロールプレイなどの実践的な学びを取り入れながら授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園教諭・保育士として最小限必要な資質能力の全体について、確実に身につけるとともに、その資質能力の全体を確認する。 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						
授業の方法等	講義、演習、ディスカッション、フィールドワーク、ロールプレイ、グループワークと多様な形式で進めます。また、ICTを活用した授業として、幼稚園・保育所・つどいの広場等での保育実践(フィールドワーク)などでは、その実践の様子をスマートフォン等でビデオ撮影し、その様子をプロジェクターに提示して改善点や工夫点等を議論します。 また、EduNaviを活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔課題・発表〕50%						
教科書	特に使用しません。						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	履修カルテの作成と保育実践でのビデオ撮影とプロジェクター上映は必須です。また、ビデオ撮影は各自のスマートフォン等利用を原則とします。 なお、自主学習支援として、保育実践に関するグループでの事前自主学習で撮影映像や質問を担当教員にEduNaviを通じて随時送信可とし、適宜アドバイスを受けることができます。						

授業計画 と 時間外学習	1	これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて(履修カルテⅠ・Ⅱの作成)と自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定 〈予習〉実習での学修を振り返る 90分 〈復習〉自己課題を認識し今後の学修を計画する 90分
	2	教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力等についてのグループ討議とロールプレイ(模擬授業) 〈予習〉教職や保育職の意義・役割・職務等を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分
	3	保育内容等の指導法・指導力についてのグループ討議とロールプレイ(模擬授業) 〈予習〉保育内容等の指導法・指導力を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分
	4	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求① 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
	5	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求② 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
	6	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求③ 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
	7	幼児理解や学級経営についてのグループ討議とロールプレイ(模擬授業) 〈予習〉幼児理解や学級経営を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分
	8	幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究①～つどいの広場 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分
	9	幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究②～幼稚園 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分
	10	幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究③～保育所 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分
	11	幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究④～幼稚園 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分
	12	幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究⑤～保育所 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分
	13	幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究⑥～つどいの広場 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分
	14	ロールプレイ・グループワーク・フィールドワークを通じた実践的指導力修得の相互評価 〈予習〉自他の実践的指導力を振り返る 90分 〈復習〉他者評価から実践的指導力を振り返る 90分
	15	幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ 〈予習〉自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認 90分 〈復習〉自らの課題を再設定する 90分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れ成績発表時に返却します〕	

保育者の資質を高める科目

授業科目名	総合演習(4~8月)*			教員名	福泉 博子 / 楠原 竜也 巢立 佳宏 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D602	
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト効果測定、個人面談						
授業の概要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 行事の企画・運営等を通して園行事を円滑に行うための実践的な能力や協働性を習得し、保育者として必要な資質を向上し、社会人としての自覚や職業観を習得を目指します。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力や協働性を身に付けることができる。 (2)体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身に付けることができる。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回(108時間)の授業を行います。 キャリアアップにつながる行事や学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことができます。学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式でディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワークを授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	必要な資料は適宜紹介します。						
関連科目	基礎演習、キャリアアップセミナーⅡ、実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子ども文化演習B						
質問受付の方法	各担任に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	総合演習(第1時限)とキャリアアップセミナーⅡ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開したりする場合があります。						

授業計画と時間外学習	ガイダンス クラスゼミ(委員等の決定)	
	1	〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	2	サークル紹介・学校行事紹介 〈予習〉サークル、行事について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	3	クラスゼミ(新しいクラスづくり) 防災避難訓練 〈予習〉クラスづくりについて考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	4	学生総会・新入生歓迎会 (予習)歓迎会行事についてイメージづくり 45分 (復習)振り返り 45分
	5	クラスゼミ (予習)交通安全について考える 45分 (復習)交通安全講習の自己点検・評価 45分
	6	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	7	ナチュラル保育検定、山短テキスト事前学習 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習の復習 45分
	8	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉検定、効果測定の振り返り 45分
	9	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容・目的・準備等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	10	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容・目的・準備等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	11	山緑祭(学内) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
12	建学の精神、学習ゼミ希望等アンケート、学習ポートフォリオ作成 〈予習〉学習ゼミの内容・体験学習等を理解する 45分 〈復習〉体験学習の進め方を確認する 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。	

授業科目名	総合演習(9~1月)*			教員名	福泉 博子 / 楠原 竜也 巢立 佳宏 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D602	
授業内容を示すキーワード	Yamamura Juhla Juhla、行事・園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト効果測定、個人面談						
授業の概要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 行事の企画・運営等を通して園行事を円滑に行うための実践的な能力や協働性を習得し、保育者として必要な資質を向上し、社会人としての自覚や職業観を習得を目指します。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力や協働性を身に付けることができる。 (2)体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身に付けることができる。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回(108時間)の授業を行います。 キャリアアップにつながる行事や学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行うことができます。学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式でディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワークを授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。 その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	必要な資料は適宜紹介します。						
関連科目	基礎演習、キャリアアップセミナーⅡ、実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子ども文化演習B						
質問受付の方法	各担任に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	総合演習(第1時限)とキャリアアップセミナーⅡ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開したりする場合があります。						

授業計画 と 時間外学習	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、防災避難訓練
	13 <予習>後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 <復習>後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)
	14 <予習>Yamamura Juhla Juhlaの目的等を理解する 45分 <復習>クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	クラスゼミ(就職指導)
	15 <予習>Yamamura Juhla Juhlaの計画を考える 45分 <復習>クラスとグループで討議を振り返る 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)
	16 <予習>クラスとグループでの準備を確認する 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)
	17 <予習>クラスとグループでの準備を確認する 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	クラスゼミ(Yamamura Juhla Juhla)
	18 <予習>クラスとグループでの準備を確認する 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	実習報告会(1・2年合同)
	19 <予習>実習経験を振り返る 45分 <復習>報告会の見聞をまとめる 45分
	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習
	20 <予習>テキストを使って試験対策をする 45分 <復習>ワークシートをまとめる 45分
	Yamamura Juhla Juhla リハーサル
	21 <予習>クラスとグループでの企画を考える 45分 <復習>クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	Yamamura Juhla Juhla (本番)
	22 <予習>クラスとグループでの準備を確認する 45分 <復習>クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定
	23 <予習>テキスト等を活用した事前学習 45分 <復習>検定、効果測定の振り返り 45分
	学習ゼミ③
	24 <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	学習ゼミ⑤
	25 <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	学習成果発表会
26 <予習>ゼミの活動を理解し発表の準備する 45分 <復習>4月までのスケジュールを確認 45分	
後期試験に向けて、建学の精神アンケート 学習ポートフォリオ 等	
27 <予習>2年次学習を振りかえり、就職に向けて抱負を考える 45分 <復習>振り返りを確認する 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。

授 業 科 目 名	乳児小児救命法			教員名	高後 仁 / マスターワークス		
配 当 年 次	2	開講時期	後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	2D603
授業内容を示すキーワード	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授業の概要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当での仕方を習得しておくことが必要となります。本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 この授業の目的は、乳幼児の保育現場における事故防止と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当を習得します。 【到達目標】 全ての授業に出席することにより、希望者はL.S.F.A.-Children's(小児用BLSプログラム)の「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。 認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病の現場における行動手順と緊急度の優先順位に沿って内容を進めます。 短時間の講義を行った後、すぐに該当する実技演習を行います。 なお心肺蘇生においては最新ガイドラインに準拠し、新型コロナ流行期の指針を考慮した実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■試験〔実技〕20% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔事前・事後レポート・中間試験 各20点×3〕60%						
教科書	「こどもの事故と応急手当」(第6版)吉田一心・伊東和雄著 マスターワークス COVID-19対応スキルワークシート(2022年発行) ※購入方法については後日指示する。						
参考書	適宜紹介、資料を配布する。						
関連科目	子どもの保健 子どもの健康と安全						
質問受付の方法	講師控室・講習中随時						
履修上の注意	運動できる服装・髪型で参加して下さい。 遅刻・欠席・私語・居眠り等は、内容理解不足として不認定になる場合があります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	事前指導・受講上の留意点、こどもの安全と事故事例、及び法的責任に関する法令について 〈予習〉シラバスと事前に配布するプリントを基に内容を確認する。90分 〈復習〉当日配布のプリントをまとめる。90分
	2	保育環境における突然死と予防対策、こどもの事故の現状と応急手当の必要性 〈予習〉事前配布の突然死予防資料を確認。教科書P3-9 事故防止と応急手当の役割を確認。90分 〈復習〉保育睡眠中の安全管理方法をリストアップする。教科書P8 連携の必要性を確認する。90分
	3	事故や急病の現場における観察と接触(安全確保、感染予防) 〈予習〉教科書P12-13現場における安全確保の手順を確認。感染防止の方法を確認する。90分 〈復習〉事故現場に遭遇した際の4つのステップをまとめる。90分
	4	生の徴候(反応、呼吸、出血)の調査、反応がないこどもの呼吸管理(気道確保と回復体位) 〈予習〉教科書P15-16 脳への酸素供給の重要性とP20-22意識不明者への気道確保の方法を確認。90分 〈復習〉緊急性の評価(赤、黄、緑)をまとめる。呼吸管理の重要性を再確認。90分
	5	心肺停止への一次救命処置(乳児、小児の心肺蘇生/CPR) 〈予習〉教科書P25-29 乳児、小児への心肺蘇生の手順および胸骨圧迫、人工呼吸の方法を確認。90分 〈復習〉心肺蘇生の手順とスキルをまとめる。心原性心停止と呼吸原性心停止の違いをまとめる。90分
	6	心肺蘇生とAEDの使用 〈予習〉教科書P36-39 AEDのメカニズムと使用方法を確認。90分 〈復習〉乳児、小児への心肺蘇生とAED使用の手順をまとめる。90分
	7	気道内異物の除去(乳児、小児) 〈予習〉教科書P42-44 乳児と小児の窒息時の手順と手当の方法を確認する。90分 〈復習〉気道内異物除去方法と、窒息事故防止についてまとめる。90分
	8	止血とショック管理(止血法、保温法) 〈予習〉教科書P47-50 止血の方法とショックの徴候・症状を確認する。90分 〈復習〉直接圧迫による止血方法を再確認する。体位管理と保温の必要性についてまとめる。90分
	9	全身のけがの調べ方、各部のけがと応急手当(頭、首、胸、腹のけが、傷と包帯、骨折、熱傷など) 〈予習〉教科書P52-55 けがの調査17項目とP58-69 けがの応急手当を確認。90分 〈復習〉17項目のけがの確認方法をまとめる。生命に関わるけがの注意点をまとめる。90分
	10	中間指導 10回目までの内容を確認するため筆記試験とフィードバック 〈予習〉10回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
	11	こどもの急病の調査(脈拍、呼吸、体温、顔色など) 〈予習〉教科書P70 4つの調査項目を確認する。90分 〈復習〉脈拍、呼吸、体温、顔色の観察方法をまとめる。90分
	12	こどもの病気の手当(熱中症、発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシーなど) 〈予習〉教科書P72-83 こどもに起こる急病と手当を確認する。90分 〈復習〉保育園でよく起こりうる熱中症、けいれん、アナフィラキシーへの対応方法をまとめる。90分
	13	生物によるけが、中毒、こどもの虐待、災害時の注意 〈予習〉教科書P84-94 生物によるけが、中毒、災害時の対応について確認する。90分 〈復習〉野外活動の際に注意すべき生物のけがについてまとめる。90分
	14	心肺蘇生実技評価セッション(乳児、小児) 〈予習〉実技評価表を使用し、乳児・小児への心肺蘇生手順とスキルを確認する。90分 〈復習〉実技評価の結果から、改善の必要な手順とスキルを再確認する。90分
	15	事後指導 3日間のまとめ、振り返りシートへの記入 〈予習〉10-15回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
定 期 試 験	◆試験〔実技〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔試験の講評を行う〕30分	

授業科目名	アウトドア演習A			教員名	高後 仁 / 去田 ゆかり		
配当年次	1・2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	3D604
授業内容を示すキーワード	自然・ネイチャーゲーム・五感・グループリーダー・いつでもだれでも						
授業の概要	ネイチャーゲームリーダーの資格取得を目指します。五感を使って自然物を探すビンゴゲームや落ち葉や木の実を使った活動を行いながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付けます。自然の美しさや面白さ不思議などを発見し、自然や他者への共感を持つことで命を大切にすることを学びます。また、実際に活動を体験するなかで、現場で使えるアクティビティや指導者としての心構えを習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、人や自然を深く愛し慈しむことのできる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】 ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しくフィールドワークを行います。一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 40%						
教科書	書名「アクティブラーニング実践書 体験と学びを深めるネイチャーゲーム」(ISBN:978-4-906937-04-2) 著者/出版社 日置光久・神長美津子監修 / (公社)日本シェアリングネイチャー協会 ※購入方法については授業時に指示する。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	アウトドア演習B						
質問受付の方法	授業の前後で行う。						
履修上の注意	学内での演習と講義を行います。フィールドワークでは教室外(構内)の活動になります。動きやすい身だしなみで参加してください。テキスト代及び資格取得に費用がかかる為、授業中に案内します。						

授業計画 と 時間外学習	1	ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム[担当:去田] 〈予習〉様々な動物の特徴や生態について調べておく 90分 〈復習〉プリントを読みまとめる 90分
	2	動物の特徴に気付くネイチャーゲーム[担当:去田] 〈予習〉自然界における「カモフラージュの事例」について調べておく 90分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 90分
	3	生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム[担当:去田] 〈予習〉人間の持つ五感について他の生き物との違いを調べておく 90分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 90分
	4	観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念[担当:去田] 〈予習〉日本シェアリングネイチャー協会のホームページを見て、ネイチャーゲームの概要をつかむ 90分 〈復習〉ネイチャーゲームとは何かまとめておく 90分
	5	身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法[担当:去田] 〈予習〉野外活動時に起こりうる事故や事件について過去の事例を調べておく 90分 〈復習〉下見の重要性についてまとめておく 90分
	6	他の人の感性に気づくネイチャーゲーム、安全対策[担当:去田] 〈予習〉指導者として子どもの前に立った時の留意点についてまとめておく 90分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめておく 90分
	7	生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム指導員制度[担当:去田] 〈予習〉指導者の立場に立ち、実践時のシミュレーションを試してみる 90分 〈復習〉指導員の心構えをまとめておく 90分
	8	現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む[担当:去田] 〈予習〉現場で指導する際の留意点についてシミュレーションを試してみる 90分 〈復習〉アドバイスシートを読み指導法を振り返る 90分
	9	感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習[担当:去田] 〈予習〉ネイチャーゲームの理論をまとめる 90分 〈復習〉実践での活用場面を具体的に考える 90分
	10	全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる)[担当:去田] 〈予習〉体験を通してネイチャーゲームが育む子どもの力を考えておく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 90分
	11	【オンデマンド(遠隔)】自然講座 パート1 樹木[担当:高後] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の樹木について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	【オンデマンド(遠隔)】自然講座 パート2 草花[担当:高後] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の草花について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	【オンデマンド(遠隔)】自然講座 パート3 動物[担当:高後] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の動物について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	レクリエーション パート1 歌遊びゲーム[担当:高後] 〈予習〉前時に配布したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
	15	レクリエーション パート2 頭のゲーム[担当:高後] 〈予習〉前時に配布したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	アウトドア演習B			教員名	山村 穂高 / 堀口 芳嗣		
配当年次	2	開講時期	後期/後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	2D605
授業内容を示すキーワード	キャンプインストラクター— キャンプ キャンプのアクティビティー						
授業の概要	<p>キャンプインストラクターの資格取得を目指します。</p> <p>キャンプインストラクターとは、キャンプでの活動を指導できる能力を持った指導者で、キャンプの基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定される者に与えられます。組織化された複数の指導者により運営・指導がなされる「幼児向けの組織キャンプ」を中心に、キャンプの目的やねらい、キャンプの特性、生活技術、さまざまなアクティビティー、キャンプの安全、キャンプの指導など、理論と実技を学びます。授業には実習を含み、グループワークにより、主体的な学びを行います。</p>						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>キャンプでの活動(アクティビティー)を指導できる能力を養うため、基礎的な知識、技術、考え方を習得し、希望者はキャンプインストラクターを申請し、取得する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>キャンプにおいて、小集団の生活を指導する基礎的な理論(キャンプの特性、対象、指導、安全)を理解している。さらに基礎的な技術(キャンプにおける生活技術、アクティビティー)を身につけ、実践につなげることができる。</p>						
授業の方法等	<p>屋内での講義、演習、実技など、多様な授業形態に加え、宿泊によるキャンプも実施します。資格認定に関しては、後期期間内に実施します。</p> <p>2022年10月15日(土)～16日(日)に、集中講義及び実習を行います。</p> <p>また、ICT(EduNavi)を活用した、双方向型の授業及び自主学習支援を行います。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記〕50%</p> <p>■授業への取り組み・態度 50%</p>						
教科書	<p>「キャンプ指導者入門」日本キャンプ協会指導者要請委員会 公益社団法人日本キャンプ協会</p> <p>※購入方法については後日指示する。</p>						
参考書	必要に応じて紹介する。						
関連科目	アウトドア演習A						
質問受付の方法	専任の科目担当教員の研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	学内での演習と講義、実習の集中授業を行います。集中授業では運動できる身だしなみで参加して下さい。テキスト代、宿泊費及び資格取得に申請登録費用等がかかるためよく確認して下さい。						

授業計画 と 時間外学習	1	キャンプの指導(1)めざせ！キャンプインストラクター(アイスブレイキング、キャンプインストラクターの資質と役割) 〈予習〉教科書を読んでおく。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	2	キャンプの特性(1)キャンプの意義と目的、キャンプの組織と種類 〈予習〉キャンプの意義と目的、組織と種類について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	3	様々なアクティビティ(1)キャンプファイア指導法 〈予習〉様々なアクティビティ、キャンプファイアについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	4	キャンプの生活技術(1)キャンプの基本装備 〈予習〉キャンプの生活技術、基本装備について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	5	宿泊等による集中講義、実習、グループワーク
	6	・キャンプの生活技術(2・3・4) テント設営・撤収法、アウトドアクッキング・工具及び道具使用法 ・様々なアクティビティ(2・3・4) キャンプファイア指導法、人とかかわるアクティビティ、キャンプクラフト
	7	・キャンプの安全(1)ファーストエイドの実際 ・キャンプの安全(1)安全管理
	8	・キャンプの対象(1)人間の理解 ・キャンプの指導(2)指導者のためのコミュニケーションスキル ・キャンプの指導(3)キャンパーの観察と記録
	9	・キャンプの対象、人間と自然の関係 ・キャンプの対象(2)人間と自然の関係
	10	・様々なアクティビティー、自然観察
	11	様々なアクティビティ(6)野外ゲーム 〈予習〉様々なアクティビティ、野外ゲームについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	12	キャンプの生活技術(5)ロープワーク 〈予習〉キャンプの生活技術、ロープワークについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	13	キャンプの安全(2)事故事例に学ぶ 〈予習〉キャンプの安全、事故事例について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	14	キャンプの対象(3)体験は未来を拓く力(自然の理解) 〈予習〉キャンプの対象、自然の理解について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	15	授業の振り返り。 〈予習〉それまで配布したプリントの内容を覚える。90分 〈復習〉使用したプリントでわからなかった部分を覚えてくる。90分
定期試験	<p>◆定期試験〔筆記〕60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>	

授業科目名	ナチュラルアート			教員名	酒井 誠		
配当年次	1・2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング		2D607	
授業内容を示すキーワード	「自然を知る」「色彩の活用」「形状のデザイン」「素材の特性を知る」「技法を理解する」						
授業の概要	自然界には様々な色や形、質感があります。この講義では自然物を利用した作品制作を通して、様々な素材・技法の理解と応用力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 身近にあるものを使用し、様々な技法を用いて作品を制作することで個々の創作に対する方法の引き出しを広げ、指導を行う際にも適切かつ、イメージを沸かせる事のできる指導者を育成する。1年時に行った図画工作/造形表現の探求よりも深く、専門的な知識を使用し、その技術を保育の現場に転用できないか考察する。</p> <p>【到達目標】 素材や道具それぞれに対する固定観念に囚われず、その場その場で目的にあった適切な表現ができるようになる。 素材や道具の臨機応変な扱い方を知り、確実に安全な造形ができる、また指導ができるようになる。</p>						
授業の方法等	教育実習3週分を除く、12回(合計48時間)の授業を講義と演習形式で行います。考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 35% ■提出物 15% 						
教科書	適宜、資料を配布						
参考書	適宜紹介、資料を配布						
関連科目	図画工作、保育内容表現						
質問受付の方法	オフィスパワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	<p>1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。汚れを伴う作業を多々行います。</p> <p>2.積極的な姿勢で授業に関わる事。集中して制作ができない、またはすぐ飽きてしまう方は履修を控えてください。</p> <p>3.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。</p>						

授業計画 と 時間外学習	1	ガイダンス/課題説明/フィールドワーク-作品制作素材の採取(押し花) 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	2	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作①/デザイン決め～張り込み作業 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	3	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作②/石膏流し込み作業 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	4	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作③/たまご型石膏割り～やし繊維張り 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	5	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作④/やし繊維貼り～押し花装飾 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	6	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作⑤/押し花装飾～完成 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	7	空想生物標本制作①/デザイン及び設定決め～必要素材の検討～フィールドワーク 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	8	空想生物標本制作②/作品組み立て 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	9	空想生物標本制作③/作品組み立て～完成 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	10	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習①/説明～実演～イメージ固め 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	11	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習②/フィールドワーク(素材調達)～作品制作 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	12	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習③/作品制作～大判作品共同制作 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉筆記試験課題の解答方法について検討する 70分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	ダンスムーブメント			教員名	楠原 竜也		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	3D608
授業内容を示すキーワード	身体性 表現 ダンス コミュニケーション インプロヴィゼーション 創作 発表						
授業の概要	身体表現についての発展科目です。テーマに沿ってインプロヴィゼーション(即興)を行ない、そこから生まれた動きを構成し、ダンス作品がどのようにできあがるのか、実践を通して学びます。最終的には、ソロやデュオ、グループ作品へと発展させていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ダンス文化に関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。 【到達目標】 ①身体表現についての文化的教養を身につけることができる。 ②自身の表現経験を積み重ね、子どもたちとの表現活動に対する身体知・応用力を身につけることができる。 ③身体性と表現力を向上することができる。						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回(合計56時間)の授業を行います。 実技、講義、グループワークを併用して展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 50% ■その他〔授業内発表〕30%						
教科書	特に使用しない。						
参考書	授業にて適宜紹介します。						
関連科目	幼児体育・保育内容表現・保育内容表現の指導法・子ども文化演習B						
質問受付の方法	適宜、研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会をつくってください。日常から身体を動かす習慣を身につけてください。 全身運動ができる服装(トレーニングウェア等が好ましい。デニム不可)で臨んでください。前髪等が気にならないように、髪の毛をまとめておいてください。素足で臨んでください。 授業実施場所の変更や準備物については、教員の指示や掲示板等に注意してください。						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス 授業の進め方など ※初回は更衣をせず、所定の場所に集合すること
	1 〈予習〉ダンスについて調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	ダンス・コミュニケーション① ペア
	2 〈予習〉ダンス・コミュニケーションについて調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	ダンス・コミュニケーション② トリオ
	3 〈予習〉ダンス・コミュニケーションについて調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	ダンス・コミュニケーション③ グループ
	4 〈予習〉ダンス・コミュニケーションについて調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	創作① ボディ(身体)・アクション(動き)
	5 〈予習〉ボディ(身体)・アクション(動き)について調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	創作② ダイナミクス(時間性・力性)
	6 〈予習〉ダイナミクス(時間性・力性)について調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
	創作③ スペース(空間性)
	7 〈予習〉スペース(空間性)について調べる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分
創作④ リレーションシップ(関係性-デュオ創作-)	
8 〈予習〉リレーションシップ(関係性-デュオ-)について調べてくる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑤ リレーションシップ(関係性-デュオ発表-)	
9 〈予習〉次回授業に向けた練習・創作(デュオ) 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑥ リレーションシップ(関係性-グループ創作-)	
10 〈予習〉リレーションシップ(関係性-グループ-)について調べてくる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑦ リレーションシップ(関係性-グループ発表-)	
11 〈予習〉リレーションシップ(関係性-グループ-)について調べてくる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑧ 造形からのアプローチ(ソロ)	
12 〈予習〉課題について調べてくる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
創作⑨ 造形からのアプローチ(グループ)	
13 〈予習〉課題について調べてくる 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
まとめ トライアル	
14 〈予習〉創作したピース(作品)の練習 45分 〈復習〉授業の振り返りとフィードバックシートの記入 45分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時等に返却〕

実 習 科 目

授業科目名	実習指導Ⅲ *			教員名	橋本 淳一 宇田川 和久 / 巢立 佳宏 橋 和代 / 室井 佑美		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅲ〕				ナンバリング	2D703	
授業内容を示すキーワード	教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 部分・責任実習 主活動 指導案						
授業の概要	主として「保育実習Ⅱ」又は「施設実習Ⅱ」(選択)、加えて教育実習の事前・事後指導として実習手続きの細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、保育の実践に必要な実践的な知識や技術、子どもや利用者への指導・援助法や指導案の書き方、クラスでの主活動や利用者の活動の展開方法などを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱ、教育実習Ⅱを円滑に行うため、計画に基づいて「保育を実践」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度・技術・能力を習得する。 【到達目標】 保育者としての使命感や責任感を醸成し、問題解決思考に基づいて保育場面を計画・設定したり、対象に応じた保育を実践したりできる。						
授業の方法等	教育実習3週間分を除く、12回(合計48時間)の授業を行います。 全体講義、グループ別の演習・ディスカッション・実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「フオランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」[ISBN:978-4893472397] 神永直美著 萌文書林						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 教育実習Ⅱ 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは原則他の曜日と時間を設定して下さい。						

授業計画と時間外学習	1	教育実習の準備(オリエンテーションから実習終了までの手続き確認) 部分責任実習を伴う実習の特色とその目標・課題の立て方 保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの振り返り 〈予習〉これまでの実習を振り返り、テキスト第2章6を読む 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
	2	指導案作成のポイント(①季節と子どもの発達に合った主活動の選び方、②留意点記述の観点) 〈予習〉テキスト第2章6を熟読する 45分 〈復習〉指導案作成のポイントの理解と定着 45分
	3	部分責任実習の指導案作成～製作とゲーム・体操遊びの構想～(実習クラス別演習／個別面談)① 〈予習〉テキスト第2章6を熟読する 45分 〈復習〉指導案作成のポイントの理解と定着 45分
	4	部分責任実習の指導案作成～製作とゲーム・体操遊びの計画～(実習クラス別演習／個別面談)② 〈予習〉製作の主活動を考える 45分 〈復習〉製作を主活動とした指導案の理解と作成 45分
	5	教育実習直前指導(実習目標・課題と主活動の確認) 〈予習〉ゲーム・運動遊びの主活動を考える 45分 〈復習〉ゲーム・運動遊びを主活動とした指導案の理解と作成 45分
	6	教育実習の振り返り 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了まで) 〈予習〉関連配布物を読み、今後の実習スケジュールを確認 45分 〈復習〉実習振り返りシートの完成 45分
	7	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱの特色と実習のねらい、実習目標の立て方 〈予習〉関連配布物を読み、実習の特色とねらいを理解する 45分 〈復習〉実習目標を立てる 45分
	8	保育所保育の特色の研究① / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究① 実習の振り返りから、実態を把握する 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	9	保育所保育の特色の研究② / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究② 指導案を立案する 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	10	保育所保育の特色の研究③ / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究③ 指導案に基づいたロールプレイをする 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	11	保育所保育の特色の研究④ / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究④ ロールプレイに対する評価を行う 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	12	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱでの留意事項と実習準備指導 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れ成績発表時に返却します〕	

授業科目名	保育実習Ⅱ *			教員名	橋本 淳一		
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習Ⅱ〕				ナンバリング	2D706	
授業内容を示すキーワード	保育所 部分・責任実習 指導案作成・実践						
授業の概要	保育実習Ⅰをふまえて、保育所等において実習指導者の指導の下、保育所の保育を実際に行い実践し、保育士として必要な資質・能力・技術の定着をめざします。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる技術・能力を養います。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その確実な習得を図る。</p> <p>【到達目標】 子どもの個性やニーズ、保育内容を踏まえて子どもと関わることができる。保育の計画・観察・記録及び自己評価等を適切に行うことができる。保育計画に基づいて指導計画を立案し、保育者にかかわって保育を実践できる。保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。</p>						
授業の方法等	原則、私立保育所等において、見学・観察・参加実習に加えて、指導案作成を伴う部分・責任(全日)実習を行います。 10日間以上、80時間以上の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林						
関連科目	保育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	「保育実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また「施設実習Ⅱ」との重複履修はできません。 なお、実習園は自己決定方式で行います。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育所の役割や機能の具体的展開 <ul style="list-style-type: none"> (1) 養護と教育が一体となって行われる保育 (2) 保育所の社会的役割と責任 観察に基づく保育の理解 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子どもの心身の状態や活動の観察 (2) 保育士等の援助や関わり (3) 保育所の生活の流れや展開の把握 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3) 関係機関や地域社会との連携・協働 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 <ul style="list-style-type: none"> (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 保育士の業務と職業倫理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 多様な保育の展開と保育士の業務 (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理 自己の課題の明確化 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
------------	--

授業科目名	施設実習Ⅱ *			教員名	宇田川 和久		
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅲ〕				ナンバリング	2D707	
授業内容を示すキーワード	個別支援計画 児童家庭福祉 社会的養護 家族支援 生活リズム 生活指導						
授業の概要	保育所以外の児童福祉施設(児童館を含む)等で実習指導者の指導の下その生活に参加し、役割や機能を実践を通して理解するとともに、子ども・利用者の養護や支援の実際について理解を深めます。また、子どもや利用者の置かれている環境や障がいの状況等にも目を向け、地域や社会との関連性についても理解を深めます。さらに、保育士として業務内容や職業倫理についても実践に結びつけて学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 児童福祉施設等で利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実際、施設の役割と機能について理解する。さらに、家庭と地域の生活実態にふれて、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力の習得を図る。</p> <p>【到達目標】 子どもや利用者の心情等を受容、共感して、援助や支援をすることができる。保育士としての養護内容の実際を理解し個別支援計画を作成できる。子どもや利用者の家族への対応や支援を理解する。施設における保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。</p>						
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設(児童館等を含む)、障害児通所施設、障害者支援施設、指定福祉サービス事業所等において、10日間以上、80時間以上の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 実習指導Ⅱ・Ⅲ 施設実習Ⅰ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	「施設実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また、「保育実習Ⅱ」との重複履修はできません。 児童館を含む実習施設は自己決定方式で行います。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能 2. 施設における支援の実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 受容し、共感する態度 (2) 個人差や生活環境に伴う子どもや利用者のニーズの把握と子ども・利用者の理解 (3) 個別支援計画の作成と実践 (4) 子どもや利用者の家族への支援と対応 (5) 各施設における多様な専門職との連携・協働 (6) 地域社会との連携・協働 3. 保育士の多様な業務と職業倫理 4. 保育士としての自己課題の明確化 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び実践の準備は、原則自宅で行います。
------------	---

授業科目名	教育実習Ⅱ *			教員名	巢立 佳宏		
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	3	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕					ナンバリング	2D709
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 部分・責任実習 指導案立案・実践 学級経営						
授業の概要	幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児とかかわりながら幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を培います。特に、実際の現場において幼児の活動へ参加することに加え、幼稚園教諭が行うさまざまな活動（保育指導、学級経営、その他の職務など）を助手的立場あるいは担任に代わって行い、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動を実践的に学ぶとともに、その本質や役割への理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 幼稚園での幼児の実態を踏まえて、保育内容・5領域や教職に関する専門的知識・理論・技術等（話法・保育形態・保育展開・環境構成他）、保育を実践するために必要な基礎を確実に身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し保育を実践することができる。 ・クラス担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 ・さまざまな場面で適切に幼児と関わることができる。 						
授業の方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、教育実習Ⅰと同じ幼稚園で行います。 ・部分、責任実習を中心に3週間の実習を行います。 						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」/神永直美著/萌文書林 「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」/文部科学省/チャイルド本社 「幼児理解に基づいた評価」/文部科学省/チャイルド本社 「指導と評価に生かす記録」/文部科学省/チャイルド本社						
関連科目	教育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	教育実習Ⅰの履修、実習指導Ⅰ・Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育全般に参加し、幼稚園教諭の保育技術・指導方法を習得する 2. 指導案を立案し、保育の一部または全部を担当し、実際に実践する。 3. 幼児の個性、発達、興味・関心など個々の幼児の理解を深め、対応方法を習得する。 4. 幼稚園教諭、幼稚園に求められる地域社会のニーズを体験・理解する。 5. 幼稚園教諭としての職業倫理を実践的に理解する。 6. 幼稚園教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ、自己の課題を明確化する。 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
------------	---

令和4年度 ディプロマポリシーに掲げる学力の割合について(令和3年度入学生)

配当 年次	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	合計 100%
		知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度			
		保育者としての専門的知識・技能(%)	社会人としての必要な教養・知識(%)	獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもつて的確に表現する力(%)	保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする積極的な態度(%)	人や自然を深く愛し、慈しむ態度(%)	社会人として必要なマナー・常識・態度(%)	
2	日本国憲法	10	30	60	0	0	0	100
2	体育講義	10	30	10	10	10	30	100
2	体育実技	10	20	10	20	10	30	100
2	保育英会話	10	10	50	10	10	10	100
1・2	生命倫理	0	30	40	0	10	20	100
2	キャリアアップセミナーⅡ(2年生)	10	30	20	20	0	20	100
2	教育原理	10	30	20	10	10	20	100
2	社会福祉	40	20	20	10	0	10	100
2	子ども家庭支援論	40	10	20	10	10	10	100
2	特別支援教育	40	10	20	10	10	10	100
2	子ども家庭支援の心理学	40	10	10	20	10	10	100
2	子どもの理解と援助	30	10	20	20	10	10	100
2	子どもの食と栄養	60	0	20	10	10	0	100
2	保育・教育課程論	40	10	30	10	0	10	100
2	保育内容総論	30	10	20	20	10	10	100
2	乳児保育Ⅱ	40	10	30	10	10	0	100
2	社会的養護Ⅱ	40	10	10	20	10	10	100
2	環境の指導法	10	10	20	10	40	10	100
2	子ども文化演習B	10	0	50	10	10	20	100
2	ピアノB	30	10	30	10	10	10	100
2	教育相談	30	20	10	20	10	10	100
2	教育行政学	10	30	20	10	10	20	100
2	保育・教職実践演習(幼稚園)	20	10	20	20	10	20	100
2	総合演習	30	20	20	10	10	10	100
2	乳児小児救命法	30	20	20	20	0	10	100
1・2	アウトドア演習A	20	10	20	10	30	10	100
2	アウトドア演習B	10	10	20	20	30	10	100
2	ナチュラルアート	10	10	20	10	40	10	100
1・2	ダンスムーブメント	20	10	40	10	10	10	100
2	実習指導Ⅲ	20	10	20	10	10	30	100
2	保育実習Ⅱ	20	10	20	20	10	20	100
2	施設実習Ⅱ	30	10	20	20	10	10	100
2	教育実習Ⅱ	20	20	20	10	10	20	100

山村学園短期大学子ども学科カリキュラムツリー(令和3年度入学生)

ディプロマポリシー(学位授与の方針)
 子ども学科では、建学の精神(質実・英知・愛敬)、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第43条(卒業)に示す所定の教育課程を修め、66単位以上を累積GPA一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。
 (知識・技能)
 1 保育者としての専門的知識・技能
 2 社会人として必要な教養・知識
 (思考力・判断力・表現力)
 3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもつて的確に表現する力
 (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
 4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度
 5 人や自然を深く愛し、慈しむ態度
 6 社会人として必要なマナー・常識・態度

卒業必修	保育士資格に必修	保育士資格に選択必修	幼稚園教諭2種免許状に必修	選択科目
------	----------	------------	---------------	------

入学前	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
4D109 保育入門	1D601 基礎演習		2D602 総合演習	
	保育体験Ⅰ/保育体験Ⅱ/保育体験Ⅲ/保育体験Ⅳ		保育体験Ⅳ	
入学前教育	1D107 キャリアアップセミナーⅠ		2D108 キャリアアップセミナーⅡ	
	1D422 子ども文化演習A	1D606 ソーイング演習		2D423 子ども文化演習B
	1D424 ピアノA	1D421 音楽表現の探究	2D425 ピアノB	
	1D408 音楽			
	1D409 図画工作	1D420 造形表現の探究	2D607 ナチュラルアート	
	1D410 幼児体育	3D608 ダンスムーブメント		3D608 ダンスムーブメント
	3D604 アウトドア演習A		3D604 アウトドア演習A	2D605 アウトドア演習B
	1D403 保育内容健康	1D417 健康と人間関係の指導法		2D402 保育内容総論
	1D404 保育内容人間関係			
	1D405 保育内容環境		2D418 環境の指導法	
1D406 保育内容言葉				
1D407 保育内容表現	1D419 言葉と表現の指導法			
1D201 保育原理	1D207 保育・教職論	2D401 保育・教育課程論	2D202 教育原理	
	1D501 教育方法・技術論		2D503 教育行政学	
	1D416 子育て支援	2D502 教育相談	2D205 子ども家庭支援論	
1D301 保育の心理学		2D303 子どもの理解と援助	2D302 子ども家庭支援の心理学	
	1D203 子ども家庭福祉			
	2D204 社会福祉			
1D411 乳児保育Ⅰ		2D412 乳児保育Ⅱ		
1D304 子どもの保健	1D413 子どもの健康と安全	2D305 子どもの食と栄養	2D603 乳児小児救命法	
	1D206 社会的養護Ⅰ	2D415 社会的養護Ⅱ		
	1D414 障がい児保育	2D208 特別支援教育	2D104 保育英会話	
1D106 コンピュータ基礎演習	3D105 生命倫理	2D101 日本国憲法	3D105 生命倫理	
			2D102 体育講義	
			2D103 体育実技	
1D701 実習指導Ⅰ	1D702 実習指導Ⅱ	2D703 実習指導Ⅲ	2D504 保育・教職実践演習(幼稚園)	
1D708 教育実習Ⅰ	1D709 保育実習Ⅰ	2D704 教育実習Ⅱ	2D706 保育実習Ⅱ	
	1D705 施設実習Ⅰ		2D707 施設実習Ⅱ	

○アルファベットは学科の記号、アルファベットの前の数字は配当年次(3:1・2年生どちらの学年も可、4:入学前「保育入門」)、下3桁は系統(系列)番号、下1・2桁は科目番号を示す。
 ○保育体験Ⅰは幼稚園・保育所の協力を得て行われる体験活動、Ⅱは幼稚園・保育所見学、Ⅲは施設見学を示す。保育体験Ⅳは1・2年生全員が参加するボランティア活動を示す。

令和4年度 実務教員科目一覧

R4.4.1

【令和4年度入学生】

系統(系列)	授業科目名	単位数
教養科目	キャリアアップセミナーⅠ	1
	キャリアアップセミナーⅡ	1
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2
教職に関する科目	保育・教職実践演習(幼稚園)	2
保育者の資質を高める科目	子ども学演習Ⅰ	1
	子ども学演習Ⅱ	1
実習科目	実習指導Ⅰ	1
	実習指導Ⅱ	2
	保育実習Ⅰ	2
	施設実習Ⅰ	2
	教育実習Ⅰ	1
単位数 合計		18

【令和3年度入学生】

系統(系列)	授業科目名	単位数
教養科目	キャリアアップセミナーⅡ	2
保育の本質・目的に関する科目	教育原理	2
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	2
教職に関する科目	保育・教職実践演習(幼稚園)	2
保育者の資質を高める科目	総合演習	2
実習科目	実習指導Ⅲ	1
	保育実習Ⅱ	2
	施設実習Ⅱ	2
	教育実習Ⅱ	3
単位数 合計		18

令和4年度 実務教員の略歴

R4.4.1

教員名	略歴	担当科目
宇田川 和久	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉県立特別支援学校校長を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		教育原理 実習指導Ⅲ
高後 仁	昭和60年よりさいたま市立(大宮市立)小学校の教員として勤務。平成17年～19年、平成22年にさいたま市教育委員会で勤務の後、さいたま市立館岩少年自然の家所長、さいたま市立小学校の校長を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅡ
		教育原理
		総合演習
酒井 誠	平成24年より千葉県私立高等学校の非常勤講師として勤務。平成25年より東京都国立大学にて教育研究助手として勤務の後、平成28年より埼玉県の私立小学校非常勤講師、平成30年より東京都私立大学非常勤講師を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
巢立 佳宏	平成23年より子育て支援センタの保育士として勤務。また、児童養護施設にて心理士、小学校(群馬県)の学校カウンセラー、鴻巣市教育支援センターで埼玉県スクールソーシャルワーカーとして勤務の後、現在に至る。	保育の心理学
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		キャリアアップセミナーⅡ
		保育・教職実践演習(幼稚園)
		総合演習 実習指導Ⅲ
橋 和代	昭和57年より社会福祉法人の保育士として勤務。平成14年より専門学校での講師、短期大学で非常勤講師や准教授を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅰ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
		保育内容総論 実習指導Ⅲ
橋本 淳一	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。	実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		保育・教職実践演習(幼稚園)
		実習指導Ⅲ
室井 佑美	平成17年より東京都立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。平成19年からは大学にて助教(実習担当)、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		保育原理
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅰ
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
		保育内容総論
実習指導Ⅲ		

山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880